EPSON
EXCEED YOUR VISION

設置・設定説明書

EB-G6900WU

マニュアル中の表示の意味

- **安全に関する表示**

  取扱説明書および製品には、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。

  その表示と意味は次のとおりです。 内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- **一般情報に関する表示**

注意	本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を記載しています。
	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
☛	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
【表記名】	リモコンまたは操作パネルのボタン名称を示しています。 例：【戻る】ボタン
［メニュー名］	環境設定メニューの項目を示しています。 例： ［画質調整］から［明るさ］を選びます。 ［画質調整］-［明るさ］

マニュアル中の表示の意味 2

本編

各部の名称と働き 6
前面/上面 6
背面 7
インターフェイス 7
底面 8
操作パネル 9
リモコン 10
リモコンの操作可能範囲 10

投写レンズユニットの取り付けと取り外し 12
取り付け方 12
取り外し方 14

電源を入れる/切る 15
電源を入れる 15
電源を切る 15

インジケーターの見方 17

設置する 21
設置条件 21
映像の向き（設置モード）を切り替える 22
投写映像の位置調整(レンズシフト) 23
ズームを調整する 24
ピントを調整する 24
短焦点レンズELPLU01をお使いのとき 24
映像の高さを調整する（机上設置時） 25
水平傾斜を調整する（机上設置時） 26
スクリーン設定 26
画面内の映像の位置を調整する 26
テストパターンを表示する 27

設定する 29
IDの設定 29
プロジェクターIDを設定する 29
プロジェクターIDの確認方法 29
リモコンIDを設定する 29
時刻の設定 30
その他の設定 32
基本動作に関する設定 32
表示に関する設定 32
ユーザーロゴの登録 34

接続する 35
コンピューターの接続 35
映像機器の接続 37
外部機器の接続 40
LANケーブルの接続 41
HDBaseTトランスミッターの接続 42
ケーブルカバーの取り付け 43
取り付け方 43

映像を投写する 44
映像のゆがみを補正する 44
操作パネル 44
リモコン 44
タテヨコ補正 44
Quick Corner 45
曲面投写補正 47
コーナー投写補正 52
ポイント補正 57
投写映像のアスペクト比を切り替える 58
切り替え方法 58
マルチプロジェクション 60
準備 60
手順の流れ 60
表示倍率変更 65
3D映像を投写する 66
映像のメンテナンス 67
液晶アライメント 67

ユニフォーミティー 68

セキュリティー機能 70

利用者を管理する（パスワードプロテクト） 70
パスワードプロテクトの種類 70
パスワードプロテクトの設定方法 70
パスワードの認証 71
操作を制限する 72
操作ボタンロック 72
リモコンボタンロック 73
盗難防止用ロック 73
ワイヤーロックの取り付け方 74

ネットワーク設定 75

ネットワーク設定の確認 75
設定 75
その他ネットワーク設定に関するメニュー一覧 76
メールメニュー 76
その他メニュー 77
初期化メニュー 78

輸送時のご注意 79

近くへの移動 79
輸送する場合 79
梱包の準備 79
梱包と輸送の注意 79

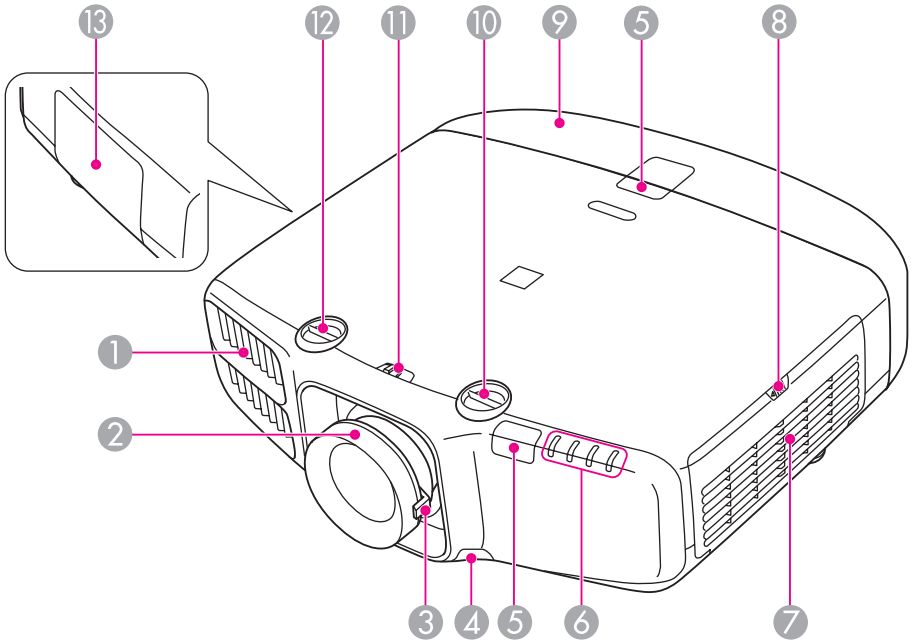
一般のご注意 80

商標と著作権について 80

お問い合わせ先 81

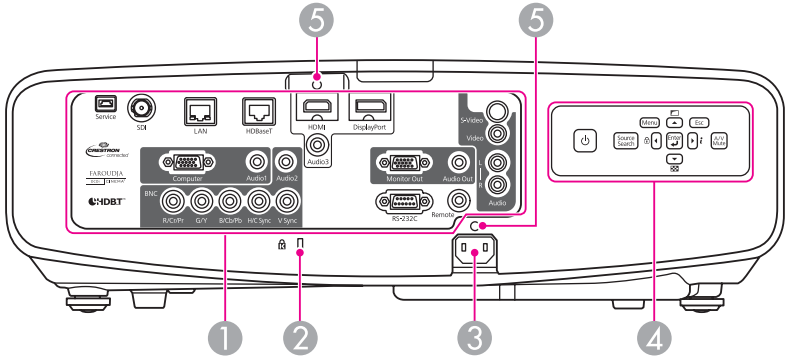
本編

前面/上面



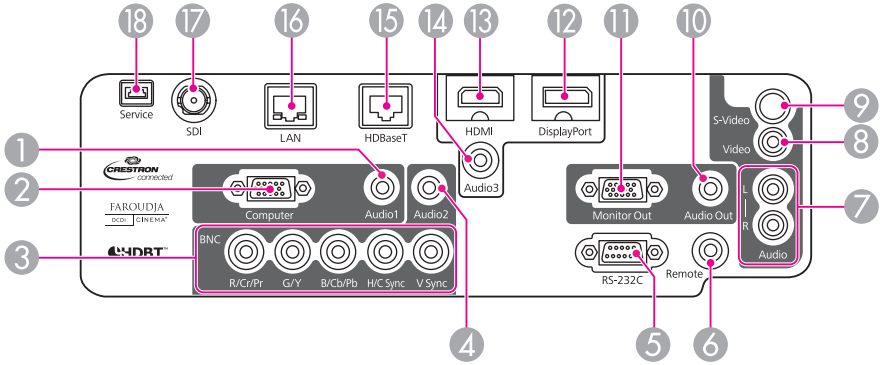
	名称	働き
❶	**排気口**	本機内部を冷却した空気の吐き出し口です。 **⚠ 注意** 投写中は手や顔を排気口に近づけたり、変形など、熱による悪影響を受けるものを排気口の近くに置かないでください。排気口から温風が出るため、やけどや変形、事故の原因となります。
❷	**フォーカスリング**	映像のピントを合わせます。☛ p.24
❸	**ズームリング**	映像のサイズを調整します。☛ p.24
❹	**レンズユニット取り外しボタン**	レンズユニット交換時に、このボタンを押してレンズユニットを取り外します。
❺	**リモコン受光部**	リモコン信号を受信します。
❻	**状態インジケーター**	本機の状態を色や点灯・点滅で示します。☛ p.17
❼	**吸気口（エアフィルター）**	本機内部を冷却するための空気を取り込みます。
❽	**エアフィルターカバー操作つまみ**	エアフィルターカバーを開くときに操作します。
❾	**ケーブルカバー**	ケーブルを接続した背面のインターフェイス部のカバーです。☛ p.43
⓪	**上下レンズシフトダイヤル**	ダイヤルを回して投写映像の位置を上下に移動します。☛ p.23
⓫	**レンズシフトダイヤルロック**	レンズシフトダイヤルの動作をロック/解除します。
⓬	**左右レンズシフトダイヤル**	ダイヤルを回して投写映像の位置を左右に移動します。☛ p.23
⓭	**ランプカバー**	ランプ交換時に、このカバーを開けて中のランプを交換します。

背面



	名称	働き
❶	**インターフェイス**	☛「インターフェイス」p.7
❷	**セキュリティースロット**	Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティーシステムに対応したセキュリティースロットです。☛ p.73
❸	**電源端子**	電源ケーブルを接続します。
❹	**操作パネル**	☛「操作パネル」p.9
❺	**ケーブルホルダー**	ケーブルが重さで抜けないように、同梱品のケーブルクランプを差し込みます。

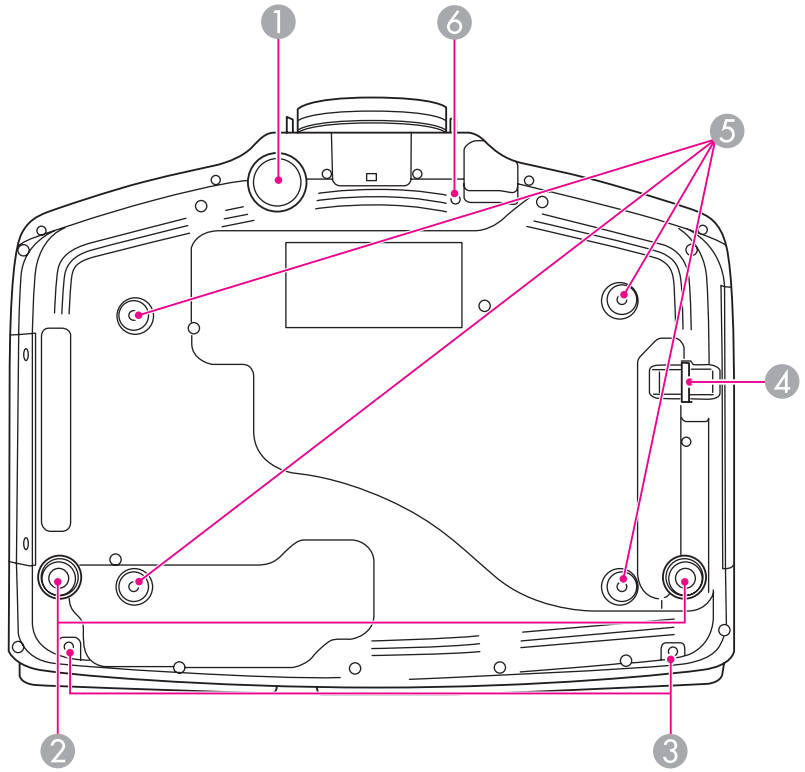
インターフェイス



	名称	働き
❶	**Audio1入力端子**	Computer入力端子に接続した機器の音声を入力します。
❷	**Computer入力端子**	コンピューターのアナログRGB信号やビデオ機器のコンポーネントビデオ信号を入力します。
❸	**BNC入力端子**	コンピューターのアナログRGB信号やビデオ機器のコンポーネントビデオ信号を入力します。
❹	**Audio2入力端子**	BNC入力端子に接続した機器の音声を入力します。
❺	**RS-232C端子**	コンピューターから本機を制御するときにRS-232Cケーブルでコンピューターと接続します。制御用の端子で通常は使用しません。
❻	**Remote端子**	オプション品のリモコンケーブルセットを接続し、リモコンからの信号を入力します。リモコンケーブルをこのRemote端子に差し込むと本機のリモコン受光部は機能しなくなります。
❼	**Audio-L/R入力端子**	Video入力端子またはS-Video入力端子に接続した機器の音声を入力します。
❽	**Video入力端子**	ビデオ機器のコンポジットビデオ信号を入力します。
❾	**S-Video入力端子**	ビデオ機器のS-ビデオ信号を入力します。

名称		働き
⑩	Audio Out端子	現在投写している映像の音声を外部スピーカーに出力します。
⑪	Monitor Out端子	外部モニターと接続し、Computer入力端子またはBNC入力端子から入力しているコンピューターのアナログRGB信号を出力します。他の端子から入力している信号やコンポーネントビデオ信号は出力できません。
⑫	DisplayPort入力端子	DisplayPortに対応したコンピューターの信号を入力します。本機はHDCPに対応しています。
⑬	HDMI入力端子	HDMIに対応したビデオ機器やコンピューターの信号を入力します。本機はHDCPに対応しています。
⑭	Audio3入力端子	DisplayPort入力端子またはHDMI入力端子に接続した機器の音声を入力します。
⑮	HDBaseT端子	オプション品のHDBaseTトランスミッターとLANケーブルで接続します。 ☛ p.42
⑯	LAN端子	LANケーブルを接続して、ネットワークに接続します。
⑰	SDI入力端子	映像機器のSDI信号を入力します。本機はSD-SDI（Standard Definition）とHD-SDI（High Definition）に対応しています。
⑱	Service端子	プロジェクターのソフトウェアを更新するときに使用する制御用端子です。通常は使用しません。

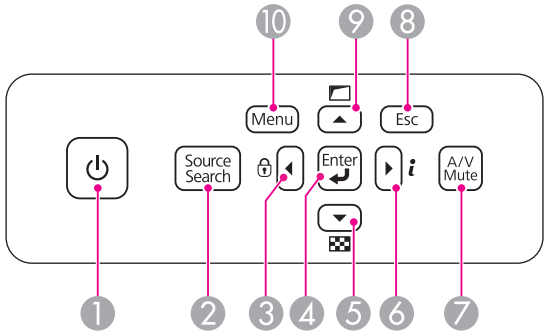
底面



名称		働き
❶	フロントフット	机上設置時に、フットを伸ばして映像の高さを調整します。 ☛ p.25
❷	リアフット	机上設置時に、フットを伸縮させて水平方向の傾きを調整します。 ☛ p.26
❸	ケーブルカバー固定ネジ穴	ケーブルカバーを固定するネジの穴です。 ☛ p.43
❹	セキュリティーケーブル取付け部	市販の盗難防止用ワイヤーロックをこの部分に通して施錠します。 ☛ p.74

名称		働き
⑤	天吊り固定部(4箇所)	天井から吊り下げて使うときに、オプションの天吊り金具を取り付けます。 ☛ p.21
⑥	レンズユニット取り外しボタン固定ネジ穴	レンズユニットを装着したとき、レンズユニット取り外しボタンを固定するネジの穴です。 ☛ p.12

操作パネル

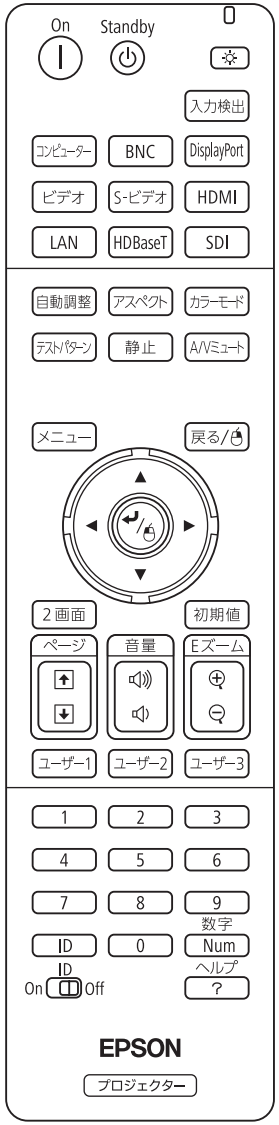


名称		働き
①	【⏻】ボタン	電源をオン/オフします。
②	【Source Search】ボタン	映像信号が入力されている入力端子からの映像に切り替えます。
③	【◀】/【🔒】ボタン	• 操作ボタンロック画面を表示して、操作パネルのボタンのロックを設定します。 ☛ p.72 • 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目や設定値を選択します。
④	【↵】ボタン	• 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。 • Computer入力端子またはBNC入力端子から入力しているアナログRGB信号を投写中に押すと、トラッキング・同期・表示位置を最適な状態に自動調整します。

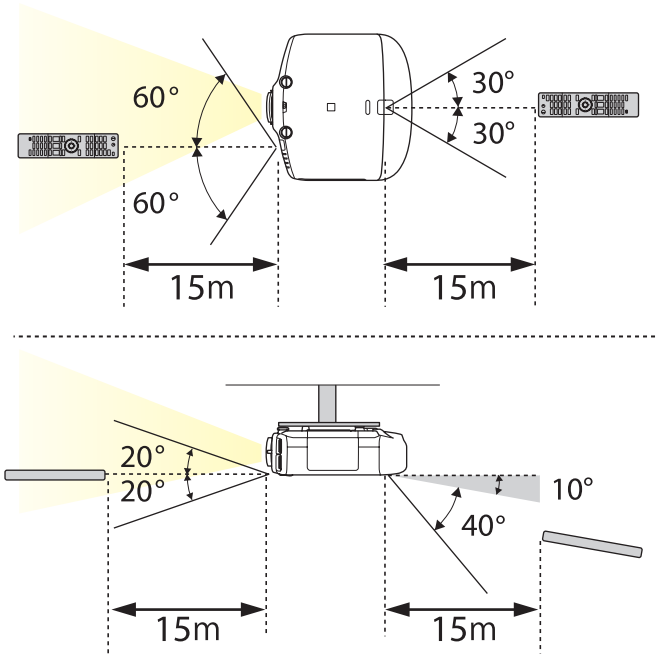
名称		働き
⑤	【▼】/【▦】ボタン	• テストパターンを表示します。 ☛ p.27 • 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目や設定値を選択します。
⑥	【▶】/【i】ボタン	• 環境設定メニューの情報メニューを表示します。 • 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目や設定値を選択します。
⑦	【A/V Mute】ボタン	映像と音声を一時的に遮断/解除します。
⑧	【Esc】ボタン	• 実行中の機能を終了します。 • 環境設定メニュー表示中に押すと、1つ上の階層に戻ります。
⑨	【▲】/【▱】ボタン	• 環境設定メニューの幾何学歪み補正で設定されている画面補正を実行します。 ☛ p.44 • 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目や設定値を選択します。
⑩	【Menu】ボタン	環境設定メニューを表示/終了します。

リモコン

リモコンの基本操作に関する説明は『取扱説明書』をご覧ください。



リモコンの操作可能範囲



- リモコンからの操作信号の受信を制限するときは、[リモコン受光部]で設定します。
  《【メニュー】ボタン→[設定]→[リモコン受光部]》
- 他のエプソンプロジェクターに添付のリモコンで本機を操作するときは、[リモコン種類]で設定します。
  《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[動作設定]→[リモコン種類]》
  ただし、お使いのリモコンにより操作可能範囲や一部の動作が異なります。

以下の動作は、リモコンの1つのボタンを押すだけで操作できます。

動作	設定
投写映像の上下を反転する。（［設置モード］の［フロント］と［フロント・天吊り］を切り替える）☛ p.22	【A/V ミュート】ボタンを約5秒以上押したままにします。
パスワードを使ったセキュリティー設定をする。 ☛ p.70	【静止】ボタンを約5秒以上押したままにします。［パスワードプロテクト］画面が表示されるので、各設定を行います。
一部のリモコンボタンの操作をロックする、ロックを解除する。 ☛ p.73	【ヘルプ】ボタンを約5秒以上押したままにします。
環境設定メニューの［リモコン受光部］の設定を初期化する。（本機のリモコン受光部をすべて有効にする。）	【メニュー】ボタンを約15秒以上押したままにします。
よく使う環境設定メニューの項目を直接表示する。	【ユーザー1】、【ユーザー2】、【ユーザー3】ボタンを押します。各ボタンに割り当てるメニュー項目は、［ユーザーボタン］で設定します。 《【メニュー】ボタン→［設定］→［ユーザーボタン］》 割り当てることのできるのは以下の項目です。 ［節電モード］、［情報］、［プログレッシブ変換］、［幾何学歪み補正］、［マルチプロジェクション］、［入力解像度］、［メモリー］、［映像処理］

取り付け方

本機で使用できるレンズは以下の通りです。指定のレンズ以外は使用しないで下さい。

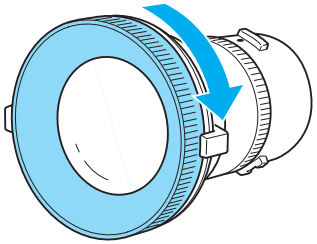
レンズ種類	レンズ型番	プロジェクター型番			
		EB-G6900WU G6750WU G6550WU G6350 G6250W G6050W	EB-G5950 G5750WU G5650W G5600	EB-G5350 G5200W G5100	EB-4950WU 4750W 4650
標準レンズ	ELPLS06	○	○	○	オプションレンズ交換には対応していません。
	ELPLS05	×	○	○	
	ELPLS03	×	○※	○	
短焦点レンズ	ELPLU01	○	×	×	
リア用短焦点レンズ	ELPLR03	○	○	○	
中焦点レンズ	ELPLM04	○	○	○	
	ELPLM05	○	○	○	
長焦点レンズ	ELPLL06	○	○	○	

※ EB-G5750WUは対応していません。

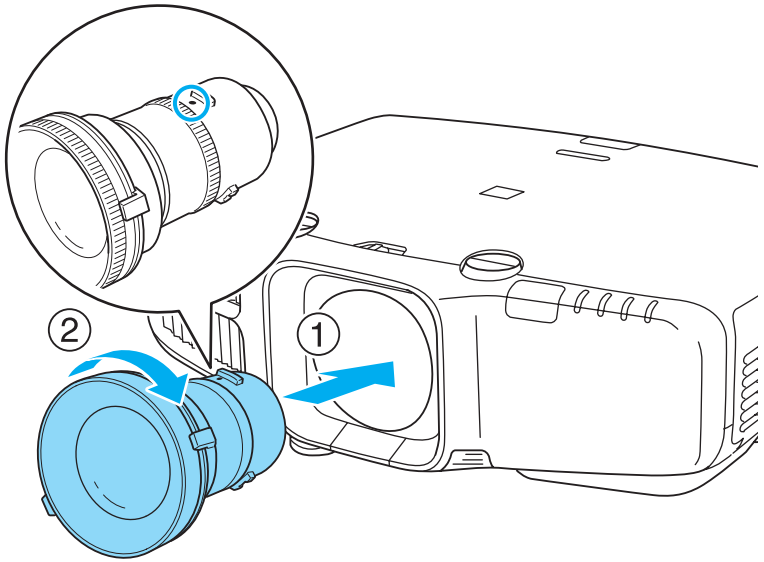
注意

本機のレンズ挿入部を上に向けた状態でレンズユニットを装着しないでください。ホコリやゴミが入る原因となります。

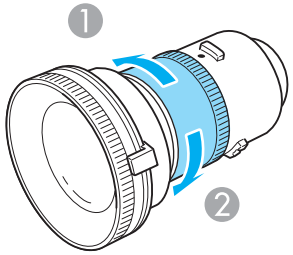
1 フォーカスリングを動かなくなるまで時計回りに回します。



2 レンズユニットの白い丸印を上に向けた状態でレンズ装着部にまっすぐ挿入し、突き当たったら時計回りにカチッと音がするまで回します。



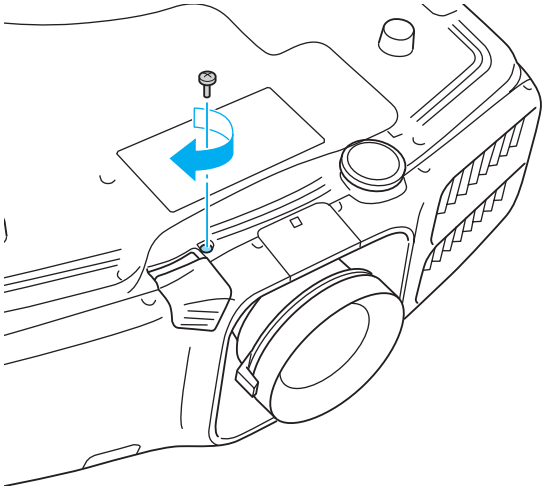
レンズユニットのトルクリングを回してズームリングの回転力を調整できます。



❶ しまる
❷ ゆるむ

3 **レンズユニットを反時計回りに回してみて、外れないことを確認してください。**

4 **レンズユニットに同梱のネジでレンズユニット取り外しボタンを固定します。＋ドライバー(#2)を使ってネジを締めます。**



レンズユニットの盗難防止のために、必ずネジで固定してください。

注意

- 本機は必ずレンズユニットを装着した状態で保管してください。
  レンズユニットを外した状態で保管すると、本機内部にホコリやゴミが入り投写品質の劣化や故障の原因となります。
- 本機を上向き(35°～150°)、または下向き(-35°～-150°)にしてお使いになる場合は、レンズのトルクリングをしめてください。ただし、強くしめすぎると故障の原因になりますので、ご注意ください。

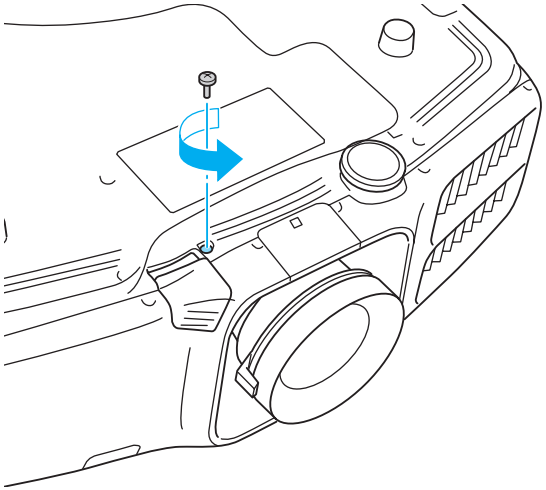
取り外し方

注意

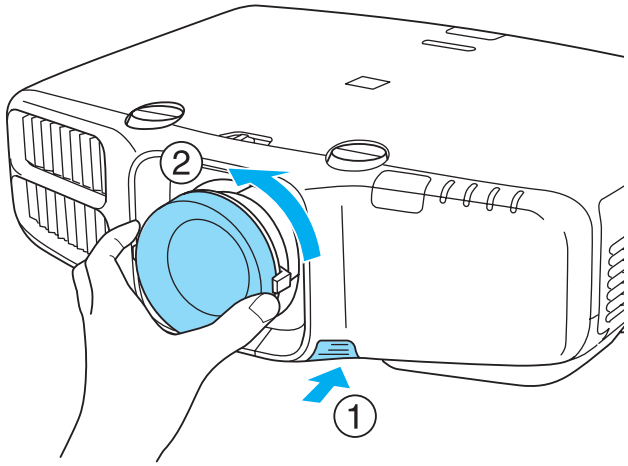
- レンズユニットは必要がないときは取り外さないでください。本機内部にホコリやゴミが入りこむと投写品質の劣化や故障の原因となります。
- レンズ部分に手や指が触れないように作業してください。レンズ面に指紋や皮脂が付くと投写品質が劣化します。
- レンズシフトを行っているときは、事前にシフト位置を中央に合わせてからレンズユニットを交換してください。

☛「投写映像の位置調整(レンズシフト)」p.23

1 レンズユニット取り外しボタンをネジで固定しているときは、＋ドライバー(#2)を使ってネジを取り外します。



2 レンズユニット取り外しボタンを押したままレンズユニットを反時計回りにカチッと音がするまで回します。



3 レンズユニットが外れますので、まっすぐに引き抜きます。

電源を入れる

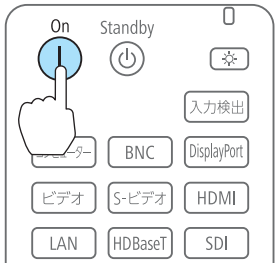
1 **電源ケーブルを接続します。**

同梱の電源ケーブルで接続します。

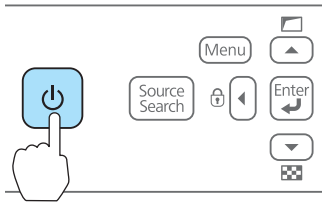
> **⚠ 警告**
> 必ず接地接続を行ってください。接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

2 **電源を入れます。**

リモコンの場合



操作パネルの場合



> **⚠ 警告**
> 投写中はレンズをのぞかないでください。

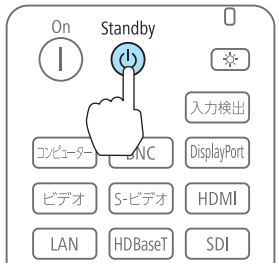
> - プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しませんので、フォーカス/ズーム/レンズシフトの設定は、映像を投写し始めてから30分以上たってから行うことをお勧めします。
> - 標高1500m以上でお使いの場合は、必ず［高地モード］を［オン］にしてください。
> 《【メニュー】ボタン→［拡張設定］→［動作設定］→［高地モード］》
> - 本機を購入後初めて電源をオンにしたとき、「時刻を設定しますか？」とメッセージが表示されます。時刻の設定方法は以下を参照してください。 ☛ p.30

電源を切る

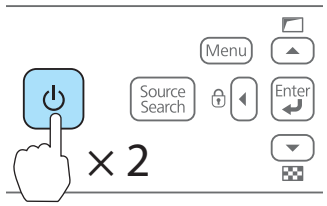
1 **接続している機器の電源を切ります。**

2 **リモコンの【⏻】を1回押すか、操作パネルの【⏻】を2回押します。**

リモコンの場合



操作パネルの場合



3 **「ピッ、ピッ」と鳴ったら、電源ケーブルを抜きます。**

誤操作防止のため、リモコンの【⏻】ボタンを押したときに電源をオフにするかの確認メッセージを表示するには、[スタンバイ確認]を[オン]にします。

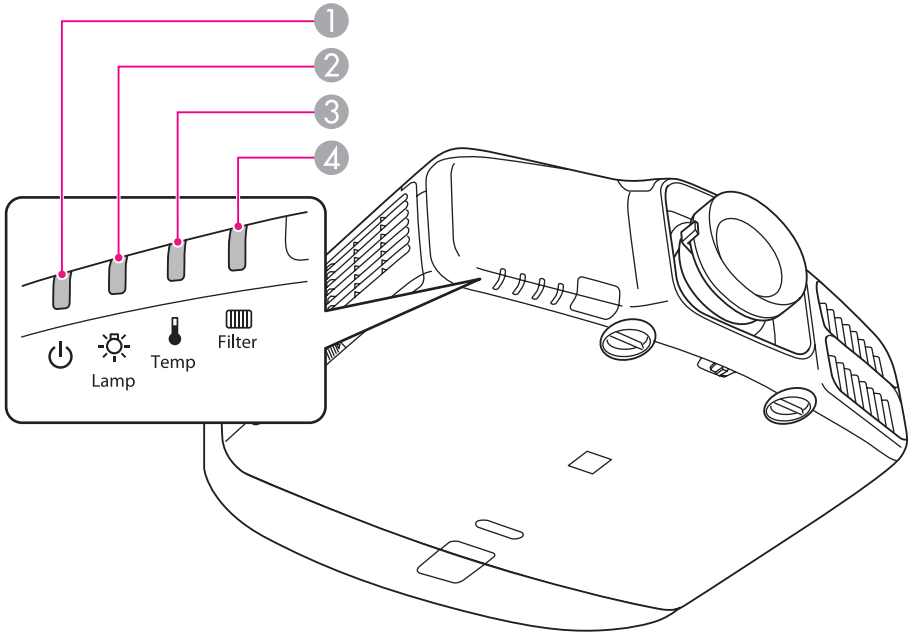
([リモコン種類]を[簡単]にしているときは、[スタンバイ確認]の設定はできません。)

《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[表示設定]→[スタンバイ確認]》

以降は、リモコンの【⏻】ボタンを押すと確認メッセージが表示され、もう1回【⏻】ボタンを押すと電源がオフになります。

インジケーターの見方

本機には、次の4種類のインジケーターがあり本機の状態をお知らせします。



❶ パワーインジケーター　　動作状態をお知らせします。

- スタンバイ状態
  この状態でリモコンの【Ⓘ】ボタンまたは操作パネルの【⏻】ボタンを押すと投写を開始します。
- ネットワーク監視準備中または、クールダウン中
  点滅中はすべてのボタン操作ができません。
- ウォームアップ中
  ウォームアップの時間は約30秒です。ウォームアップ終了後、緑色の点灯に変わります。
  ウォームアップ中は【⏻】ボタンを押しても、機能しません。
- 投写中

❷ ランプインジケーター　　ランプの状態をお知らせします。

❸ 温度インジケーター　　内部温度の状態をお知らせします。

❹ フィルターインジケーター　　エアフィルターの状態をお知らせします。

インジケーターの状態とその対処方法については、次の表を参照してください。

インジケーターがすべて消灯している場合は、電源コードが正しく接続されていないか、または電気が十分に供給されていません。

電源コードを抜いても【⏻】インジケーターがしばらく点灯したままになることがありますが故障ではありません。

■：点灯　■：点滅　□：消灯　■：本機の状態により異なる場合

状態	原因	処置または状態
■ ⏻ ■ ☼ ■ 🌡 □ ▥	内部異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。 ☛「お問い合わせ先」p.81
■ ⏻ □ ☼ ■ 🌡 □ ▥	ファン異常 センサー異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。 ☛「お問い合わせ先」p.81
■ ⏻ □ ☼ ■ 🌡 □ ▥	内部高温異常 （オーバーヒート）	ランプが自動的に消灯し、投写できなくなります。約5分間は、そのままの状態で待ちます。約5分後、スタンバイ状態になりますので、次の2点を確認してください。 • エアフィルター・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認します。 • エアフィルターが目詰まりしているときは、電源プラグをコンセントから抜いてから、掃除または交換をします。 上記を確認後も異常が発生するとき：ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。 ☛「お問い合わせ先」p.81
		標高1500m以上の場所でお使いのときは、［高地モード］を［オン］にしてください。 《【メニュー】ボタン→［拡張設定］→［動作設定］→［高地モード］》
■ ⏻ ■ ☼ □ 🌡 □ ▥	ランプ異常 ランプ点灯失敗	電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、次の2点を確認してください。 • ランプを取り出してランプが割れていないか確認します。 • エアフィルターを掃除します。
		割れていないとき：ランプを再セットして、電源プラグをコンセントに接続します。 **それでもエラーになるとき**：ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。 ☛「お問い合わせ先」p.81

状態	原因	処置または状態
		割れているとき：お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください(ランプを交換しないと映像を投写することはできません)。 ☛「お問い合わせ先」p.81
		標高1500m以上の場所でお使いのときは、[高地モード]を[オン]にしてください。 《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[動作設定]→[高地モード]》
	オートアイリス異常 電源系異常(バラスト)	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。 ☛「お問い合わせ先」p.81
	フィルター風量低下異常	次の2点を確認してください。 • エアフィルター・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認します。 • エアフィルターが目詰まりしているときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、掃除または交換をします。 確認後、再び電源プラグをコンセントに接続します。 上記を確認後も異常が発生するとき：ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。 ☛「お問い合わせ先」p.81
	高温警告	異常ではありません。ただし、さらに高温になると投写を自動停止します。次の2点を確認してください。 • エアフィルター・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認します。 • エアフィルターが目詰まりしている場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、掃除または交換をします。
	ランプ交換勧告	電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、新しいランプに交換してください。 交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。すみやかに新しいランプと交換してください。

状態	原因	処置または状態
	エアフィルター風量低下	次の2点を確認してください。 • エアフィルター・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認します。 • エアフィルターが目詰まりしているときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、掃除または交換をします。 上記を確認後も異常が発生するとき：ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。 ☛「お問い合わせ先」p.81
	エアフィルター清掃通知	「エアフィルターの清掃時期です。エアフィルターの掃除、または交換をしてください。」とメッセージも表示されます。電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、エアフィルターの掃除をしてください。 エアフィルター清掃通知のインジケーターやメッセージは、環境設定メニューの［エアフィルター清掃通知］を［オン］に設定しているときに表示されます。 《【メニュー】ボタン→［拡張設定］→［表示設定］→［エアフィルター清掃通知］》

各インジケーターがこの表にない状態のときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。

☛「お問い合わせ先」p.81

設置条件

警告

- 天井への取り付け(天吊り設置)工事は、特別な技術が必要となります。正しく工事が行われないと、落下•転倒によりけがや事故の原因となります。お買い求めいただいた販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
  ☛「お問い合わせ先」p.81
- プロジェクターの天吊り固定部に、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などが付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下し事故やけがの原因となります。
  天吊り設置や天吊り金具の調整に際しては、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。
- 本機の吸気口・排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- 天吊りするには、オプションの天吊り金具が必要です。
- 天吊り使用時は、本体操作パネルの【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンの操作と動作が一致するように、[方向ボタン反転]をオンに設定します。
  《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[動作設定]→[方向ボタン反転]》

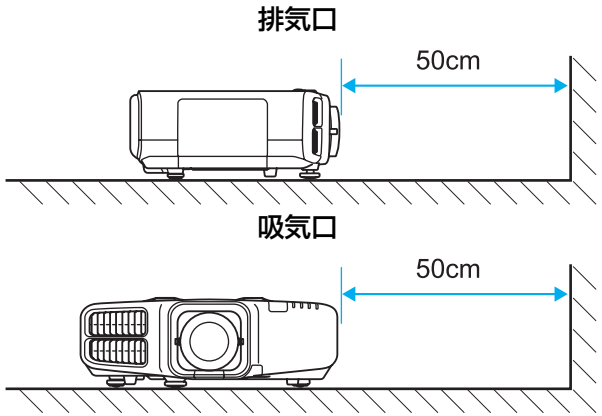
本機の設置可能角度は以下のとおりです。

垂直方向：360°設置可能です。

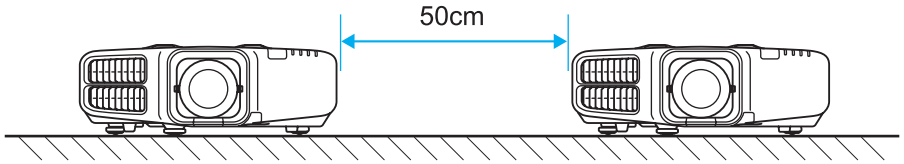
水平方向：リアフットを伸縮できる範囲で傾けられます。

☛「水平傾斜を調整する（机上設置時）」p.26

排気口、吸気口と壁の間には50cm以上のスペースが必要です。



本機を並べてお使いになるときは、プロジェクターとプロジェクターの間を50cm以上開けてください。また、排気口から出た熱が吸気口に入り込まないようにしてください。

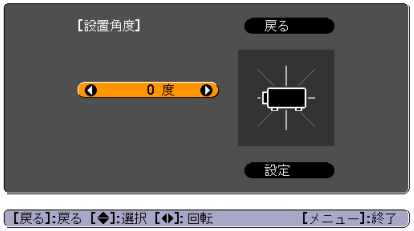


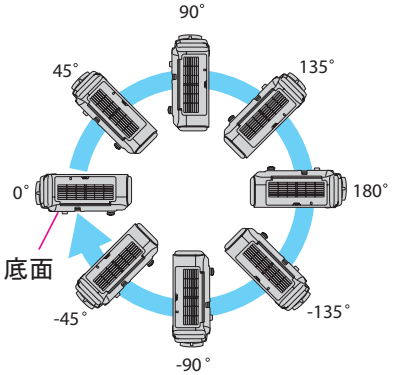
設置が終了したら、垂直方向の設置角度に合わせて環境設定メニューの[設置角度]を設定してください。

《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[設置角度]》

【◀】【▶】ボタンでプロジェクターの設置角度を設定します。

ボタンを押すたびに15°ずつ傾きます。実際の設置角度に近い値に設定してください。





設定が終了したら【▼】ボタンで[設定]を選択し、【↵】ボタンを押します。

注意
必ず[設置角度]を設定してください。設定しないとランプの交換時期が著しく早まる場合があります。

映像の向き(設置モード)を切り替える

映像の向きは環境設定メニューの[設置モード]で切り替えます。

《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[設置モード]》

フロントを基準にした場合、各設置モードの映像の向きは以下のとおりです。

フロント(初期値)

フロント・天吊り

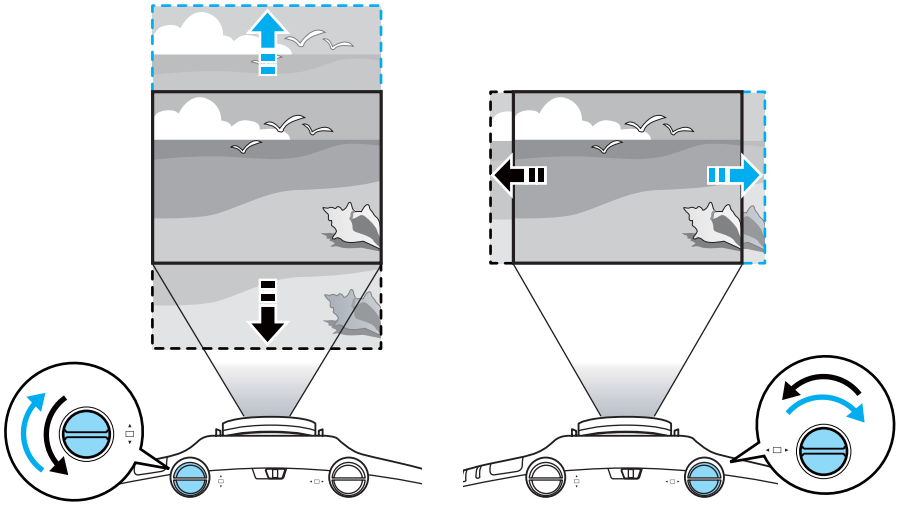
リア

リア・天吊り

- リモコンの【A/Vミュート】ボタンを約5秒間押し続けると、次のように設定を切り替えることができます。
  フロント↔フロント・天吊り
- 設置状態を変えたときは、[設置角度]の設定をご確認ください。
  《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[設置角度]》

投写映像の位置調整(レンズシフト)

スクリーンの正面に本機を設置できないときや、映像の位置を調整したいときは、レンズシフトを使い映像の位置を上下左右に移動できます。

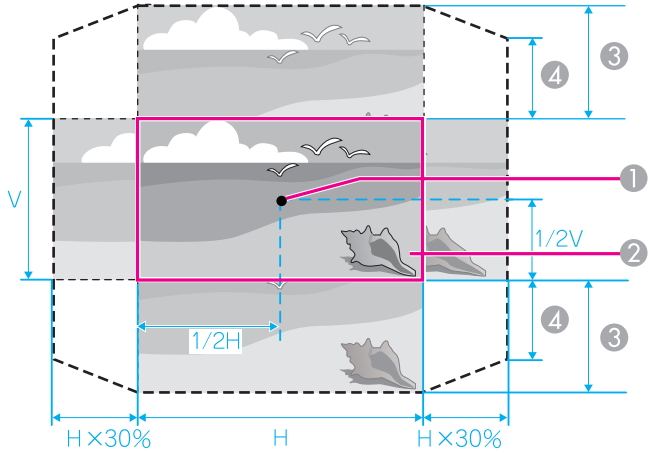


注意

上下レンズシフトで画面の位置を調整するときは、画面を下から上に移動して調整し、終了してください。下に移動して終了すると、画面の位置が少し下がる場合があります。

- プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しませんので、フォーカス/ズーム/レンズシフトの設定は、映像を投写し始めてから30分以上たってから行うことをお勧めします。
- レンズシフトを上下、左右とも中央に合わせたときがもっとも鮮明な映像となります。

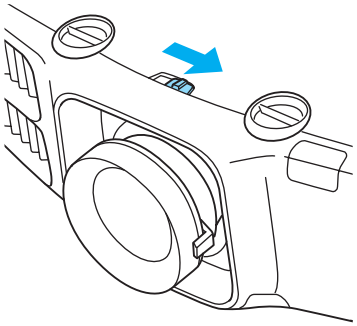
レンズシフトで映像を移動できる範囲は、以下のとおりです。



❶ レンズの中心
❷ レンズシフトを中央に設定したときの投写映像
❸ 最大可動領域：V×67%
❹ 左右方向が最大値の場合：V×27%

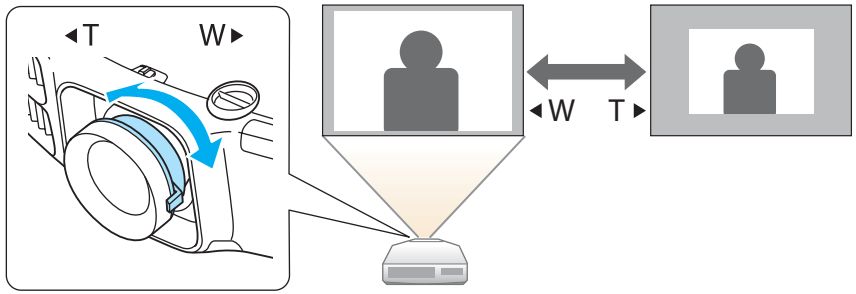
映像の位置を上下、左右の両方とも最大値まで移動することはできません。

調整が終了したら、レンズシフトダイヤルロックをロックします。



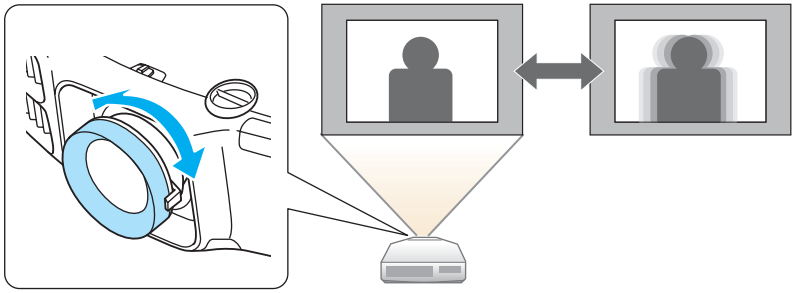
ズームを調整する

ズームリングを回して調整します。



ピントを調整する

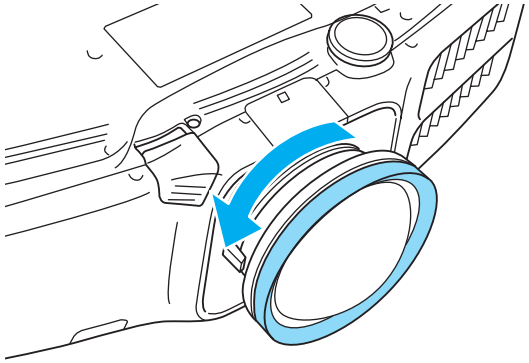
フォーカスリングで調整します。



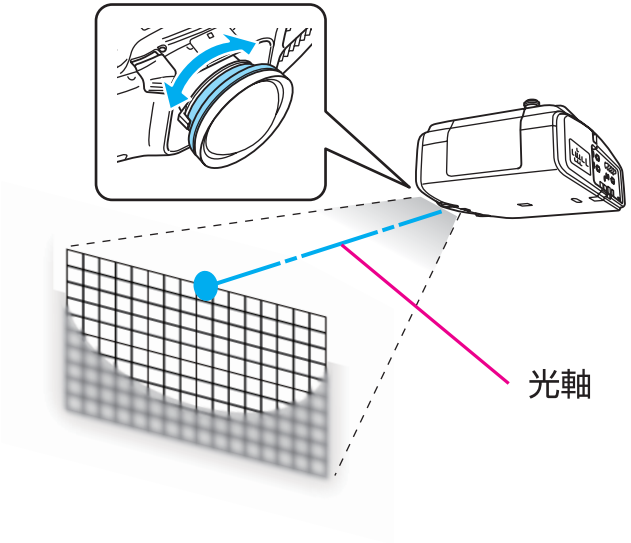
短焦点レンズELPLU01をお使いのとき

レンズシフトを上下左右いずれかに移動している場合は、以下の手順でピントを調整します。

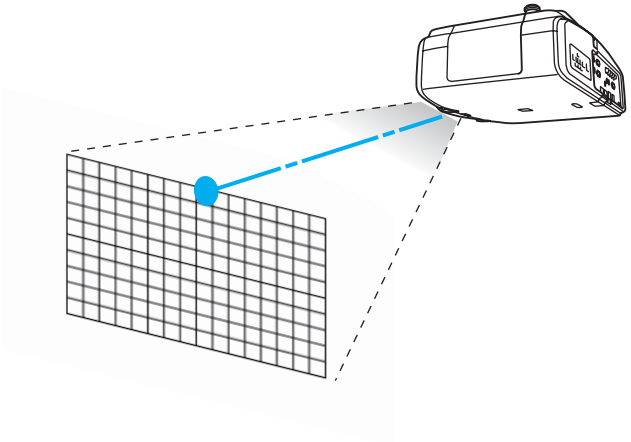
1 **ディストーションリングを動かなくなるまで反時計回りに回します。**



2 **フォーカスリングで光軸の周りのピントを合わせます。**
例：レンズシフトを下方向いっぱいにしているとき



3 **ディストーションリングで画面のゆがみを補正します。**
ゆがみが補正されるとともに、周囲のピントも調整されます。

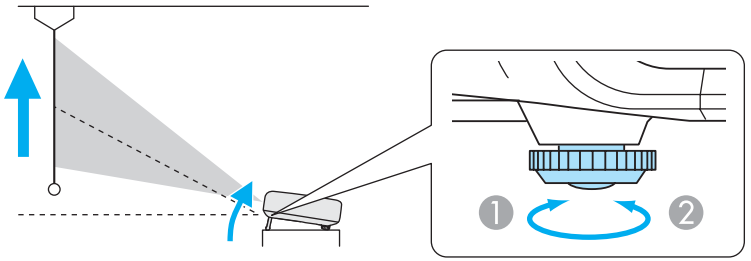


4 **フォーカスリングで画面全体のピントを合わせます。**
光軸の周りのピントが合わない場合は、ディストーションリングを回して微調整します。

短焦点レンズELPLU01をお使いになるときは、台形補正が正しく行われるように、環境設定メニューの[レンズタイプ]を[ELPLU01]に設定してください。
《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[動作設定]→[レンズタイプ]》

映像の高さを調整する（机上設置時）

フロントフットを伸縮して調整します。最大10度まで傾けて、映像の高さを調整できます。

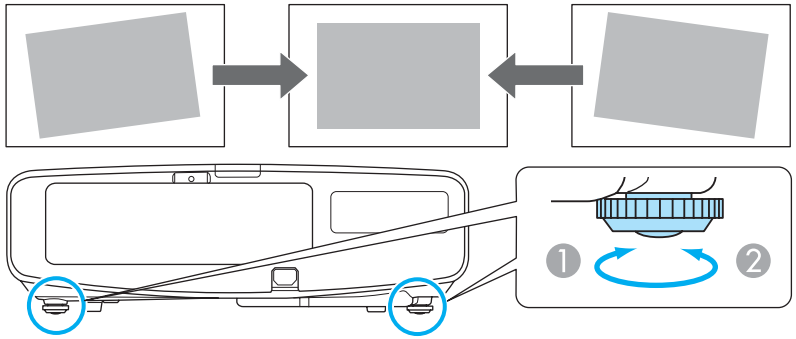


❶ フロントフットを伸ばします。
❷ フロントフットを縮めます。

傾斜角度が大きくなると、ピントが合いにくくなります。傾斜角度が小さくなるように設置してください。

水平傾斜を調整する（机上設置時）

リアフットを伸縮して本機の水平方向の傾きを調整します。



❶ リアフットを伸ばします。
❷ リアフットを縮めます。

注意
リアフットは着脱式です。約10mm以上伸ばすと外れますので、ご注意ください。

スクリーン設定

お使いのスクリーンのアスペクト比に合わせて、スクリーンタイプを［4:3］、［16:9］、［16:10］のいずれかで設定します。

《【メニュー】ボタン→［拡張設定］→［表示設定］→［スクリーン設定］→［スクリーンタイプ］》

映像を表示する領域がスクリーンに合うように調整されます。

初期値は［16:10］です。

画面内の映像の位置を調整する

スクリーンタイプの設定により画面の枠と映像の間に余白が生じたときは、映像の位置を調整できます。

《【メニュー】ボタン→［拡張設定］→［表示設定］→［スクリーン設定］→［スクリーン位置］》

例：［スクリーンタイプ］が［4:3］の場合

映像を左右に移動できます。

以下の場合は［スクリーン位置］の調整はできません。
［スクリーンタイプ］の設定が［16:10］

テストパターンを表示する

テストパターンを表示させると、映像機器を接続せずに投写状態を調整できます。

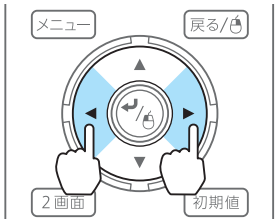
[スクリーンタイプ]の設定に合わせてテストパターンが表示されます。先に[スクリーンタイプ]を設定してください。

《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[表示設定]→[スクリーン設定]→[スクリーンタイプ]》

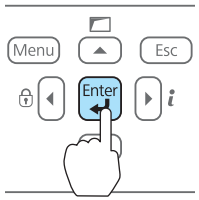
1 **投写中にリモコンの【テストパターン】ボタンまたは操作パネルの【▦】ボタンを押します。**

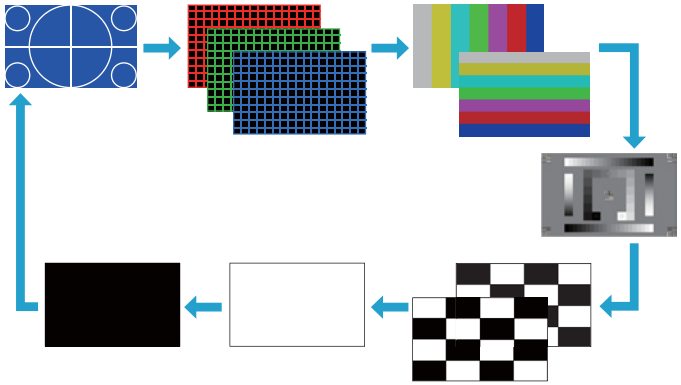
2 **リモコンの【◀】【▶】ボタンまたは操作パネルの【↵】ボタンを押してテストパターンを切り替えます。**

リモコンの場合



操作パネルの場合





テストパターン表示中は、以下の映像調整を行えます。

トップメニュー名	サブメニュー名/項目
画質調整	カラーモード
	絶対色温度
	アドバンスト - ガンマ※1 - RGB - RGBCMY
	初期化
映像	自動調整
設定	幾何学歪み補正 ☛ p.44

トップメニュー名	サブメニュー名/項目
拡張設定	マルチプロジェクション ☛ p.60 - 明るさレベル - エッジブレンディング※2 - マルチスクリーン

※1 カスタムガンマ設定は除く
※2 黒レベル調整は除く

テストパターンを表示中に設定できないメニュー項目の設定や、投写映像の細かい調整は、接続機器からの映像を投写して行ってください。

IDの設定

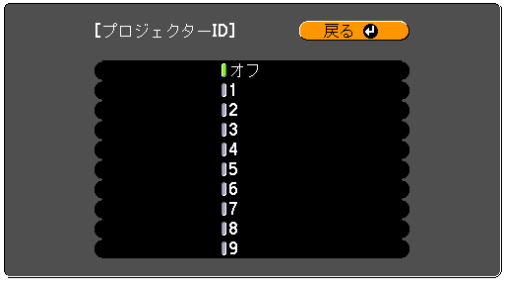
プロジェクターとリモコンにIDを設定するとIDが一致するプロジェクターだけをリモコンで操作できるようになり、本機を複数台並べて使用するときに便利です。

- リモコンの操作範囲内にあるプロジェクターのみ、リモコンで操作できます。 ☛ p.10
- 環境設定メニューの[動作設定]で[リモコン種類]を[簡単]に設定しているときはリモコンID は設定できません。
- プロジェクターIDが[オフ]、またはリモコンのIDが**0**のときは、IDは無効になります。

プロジェクターIDを設定する

《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[マルチプロジェクション]→[プロジェクターID]》

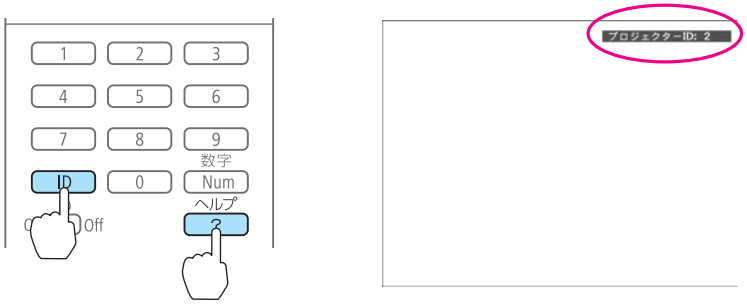
設定したいIDを選び、【↵】ボタンを押します。



プロジェクターIDの確認方法

投写中に、【ID】ボタンを押したまま【ヘルプ】ボタンを押します。

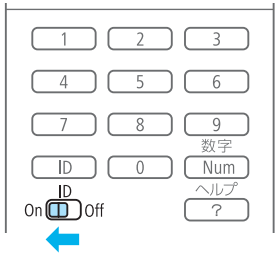
リモコン



ボタンを押すと、投写画面上に現在のプロジェクターIDが表示されます。表示は約3秒で消えます。

リモコンIDを設定する

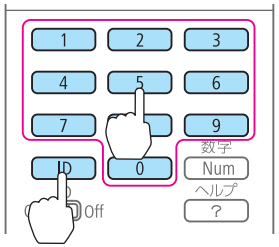
1 **リモコンの【ID】スイッチをOnに設定します。**



2 **【ID】ボタンを押したまま、操作するプロジェクターのIDと同じ数字のボタンを押します。**

☛「プロジェクターIDの確認方法」p.29

リモコン



設定が終了するとリモコンから操作できるプロジェクターが限定されます。

> リモコンIDの設定はリモコンに記憶されます。記憶したID設定は、リモコンの電池交換などで、リモコンからいったん電池を外しても残ります。ただし、電池を取り外した状態で長期間放置すると初期値(ID0)に戻ります。

時刻の設定

本機に時刻を設定します。設定した時刻はスケジュール機能で使用します。

《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[動作設定]→[日付＆時刻]》

> - 本機を購入後初めて電源をオンにしたとき、「時刻を設定しますか？」とメッセージが表示されます。[はい]を選択したときは以下の画面が表示されます。
> - [パスワードプロテクト]の[時刻/スケジュール保護]を[オン]にしていると、日付や時刻に関する設定の変更はできません。[時刻/スケジュール保護]を[オフ]にしてから設定を変更してください。 ☛ p.70

日付＆時刻

サブメニュー	機能
日付	今日の日付を設定します
時刻	現在の時刻を設定します。
時差(UTC)	協定世界時からの時差を設定します。(日本国内：+9:00)
設定	[日付＆時刻]の設定内容を反映します。

夏時間設定

サブメニュー	機能
夏時間	夏時間を有効にする([オン])/しない([オフ])を設定します。[夏時間調整(分)]では、標準時間と夏時間の差を調整します。
夏時間開始	夏時間を開始する日時を設定します。

サブメニュー	機能
夏時間終了	夏時間を終了する日時を設定します。
設定	［夏時間設定］の設定内容を反映します。

インターネット時刻

サブメニュー	機能
インターネット時刻	［オン］に設定すると、インターネット時刻サーバーへ接続し、時刻を自動的に更新します。
インターネット時刻サーバー	インターネット時刻サーバーのIPアドレスを入力します。
設定	［インターネット時刻］の設定内容を反映します。

設定を変更したときは、必ず［設定］を選択し【↵】ボタンを押してください。

その他の設定

基本動作に関する設定

電源のオン/オフなど、基本動作に関する設定は、環境設定メニューの［動作設定］で行います。

《【メニュー】ボタン→［拡張設定］→［動作設定］》

［動作設定］では以下を設定できます。

動作	設定
主電源のオン/オフまたはプロジェクターの電源プラグの抜き差しによって、投写を開始/終了したい。	［ダイレクトパワーオン］を［オン］に設定します。（初期値：［オフ］）
映像信号が未入力のまま、なにも操作しないときは自動で電源をオフになるようにしたい。	［スリープモード］を［オン］に設定します。（初期値：［オン］）スリープモードが動作するまでの時間は［スリープモード時間］で設定します。1分から30分の間で設定できます。（初期値：［30分］）
標高1500m以上の場所で本機を使用したい。	［高地モード］を［オン］に設定します。（初期値：［オフ］）
本機の電源をオンにしたときに、前回と同じ入力ソースの映像を投写したい。	［起動時入力検出］を［オフ］に設定します。（初期値：［オン］）※1
A/Vミュートを実行したまま、通信コマンドで本機を操作したい。	［A/Vミュート解除］を［A/Vミュート］に設定します。（初期値：［すべて］）※2
本機の電源をオン/オフしたときの「ピッ、ピッ」という確認音を消したい。	［確認音］を［オフ］に設定します。（初期値：［オン］）

※1 初期値は［オン］に設定されているので、電源をオンにするたびに映像信号が入力されているかを検出します。
※2 初期値は［すべて］に設定されています。A/Vミュート中、本機を操作すると、A/Vミュートは解除されます。

表示に関する設定

メニューやメッセージ、背景表示に関する設定は、環境設定メニューの［表示設定］で行います。

《【メニュー】ボタン→［拡張設定］→［表示設定］》

［表示設定］では以下を設定できます。

動作	設定
メニューの表示位置を変更したい。	［メニュー表示位置］で変更します。

動作	設定
入力ソースを切り替えたときの入力ソース名や、内部温度が上昇したときの警告メッセージなど、メッセージを投写画面に表示させないようにしたい。※1	［メッセージ表示］を［オフ］に設定します。（初期値：［オン］） 警告状態はインジケーターの表示で確認することができます。 ☛「インジケーターの見方」p.17
背景に表示する画面を変更したい。	青、黒、ロゴから選択できます。ロゴが登録されていないときは、EPSONロゴが表示されます。 ［背景表示］：映像信号が入力されていないときの画面表示を設定します。（初期値：［青］） ［スタートアップスクリーン］：本機の電源をオンにしたときに、ユーザーロゴを表示する（［オン］）、表示しない（［オフ］）を設定します。（初期値：［オン］） ［A/Vミュート］：A/Vミュート実行中の画面表示※2を設定します。（初期値：［黒］）
誤操作防止のため、リモコンの【⏻】ボタンを押したときに電源をオフにするかの確認メッセージを表示させたい。	［スタンバイ確認］を［オン］にします。（初期値：［オフ］）

※1 操作や動作に関するダイアログや、ランプ交換勧告、Message Broadcastingの終了、プロジェクターIDは表示されます。
※2［A/Vミュート解除］を［A/Vミュート］に設定しているときは［黒］になります。

ユーザーロゴの登録

ユーザーロゴを一度登録すると、初期設定状態(EPSONロゴ)には戻せません。

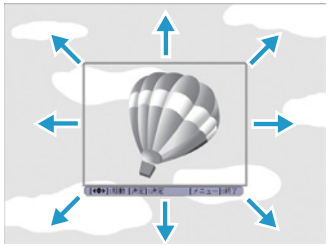
1 **ユーザーロゴとして登録する映像を投写します。**

2 **環境設定メニューで[ユーザーロゴ]を選択します。**

《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[ユーザーロゴ]》

「現在投写されている映像の一部をユーザーロゴとして使いますか？」と表示されるので、[はい]を選択します。

3 **ユーザーロゴとして使用する映像の範囲を選択します。**



4 **表示倍率を選択します。**

「この映像を保存しますか？」とメッセージが表示されるので、[はい]を選択すると、登録が終了します。

接続する機器により、端子名称、位置や向きが異なります。

コンピューターの接続

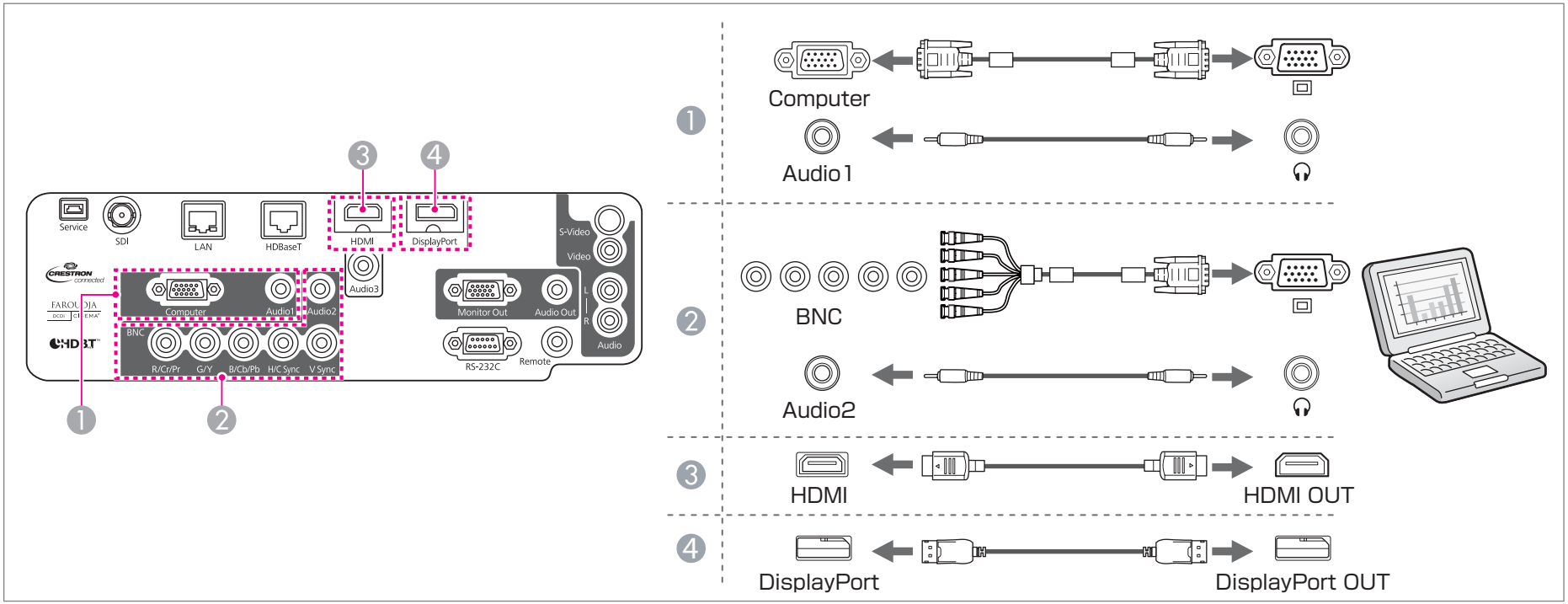
コンピューターの映像を投写するには、以下の方法で接続します。

❶ **同梱のコンピューターケーブルを使用するとき**
コンピューターのディスプレイ出力端子と本機のComputer入力端子を接続します。
音声を本機のAudio Out端子から出力するときは、市販のオーディオケーブルで、コンピューターの音声出力端子と本機のAudio1入力端子を接続します。

❷ **市販の5BNCディスプレイケーブルを使用するとき**
コンピューターのディスプレイ出力端子と本機のBNC入力端子を接続します。
音声を本機のAudio Out端子から出力するときは、市販のオーディオケーブルで、コンピューターの音声出力端子と本機のAudio2入力端子を接続します。

❸ **市販のHDMIケーブルを使用するとき**
コンピューターのHDMI端子と本機のHDMI入力端子を接続します。
コンピューターの音声も本機のAudio Out端子から出力されます。

❹ **市販のDisplayPortケーブルを使用するとき**
コンピューターのDisplayPort端子と本機のDisplayPort入力端子を接続します。
コンピューターの音声も本機のAudio Out端子から出力されます。



- ［音声出力設定］で出力する音声を切り替えられます。
  《【メニュー】ボタン→［拡張設定］→［A/V出力設定］→［音声出力設定］》
- HDMIケーブルまたはDisplayPortケーブルから音声が転送されないときは、市販のオーディオケーブルでAudio3端子に音声を入力します。［HDMI音声出力］または［DisplayPort音声出力］を［音声入力3］に設定してください。
  《【メニュー】ボタン→［拡張設定］→［A/V出力設定］→［音声出力設定］→［HDMI音声出力］、［DisplayPort音声出力］》
- 市販のDisplayPortケーブルにはロックがついているものがあります。ケーブルを取り外すときは、ケーブルのコネクター部分にあるボタンを押しながらケーブルを抜いてください。

映像機器の接続

ビデオ映像を投写するには、以下の方法で接続します。

❶ **市販のビデオケーブルを使用するとき**
映像機器のビデオ出力端子と本機のVideo入力端子を接続します。
音声を本機のAudio Out端子から出力するときは、市販のオーディオケーブルで、映像機器の音声出力端子と本機のAudio-L/R入力端子を接続します。

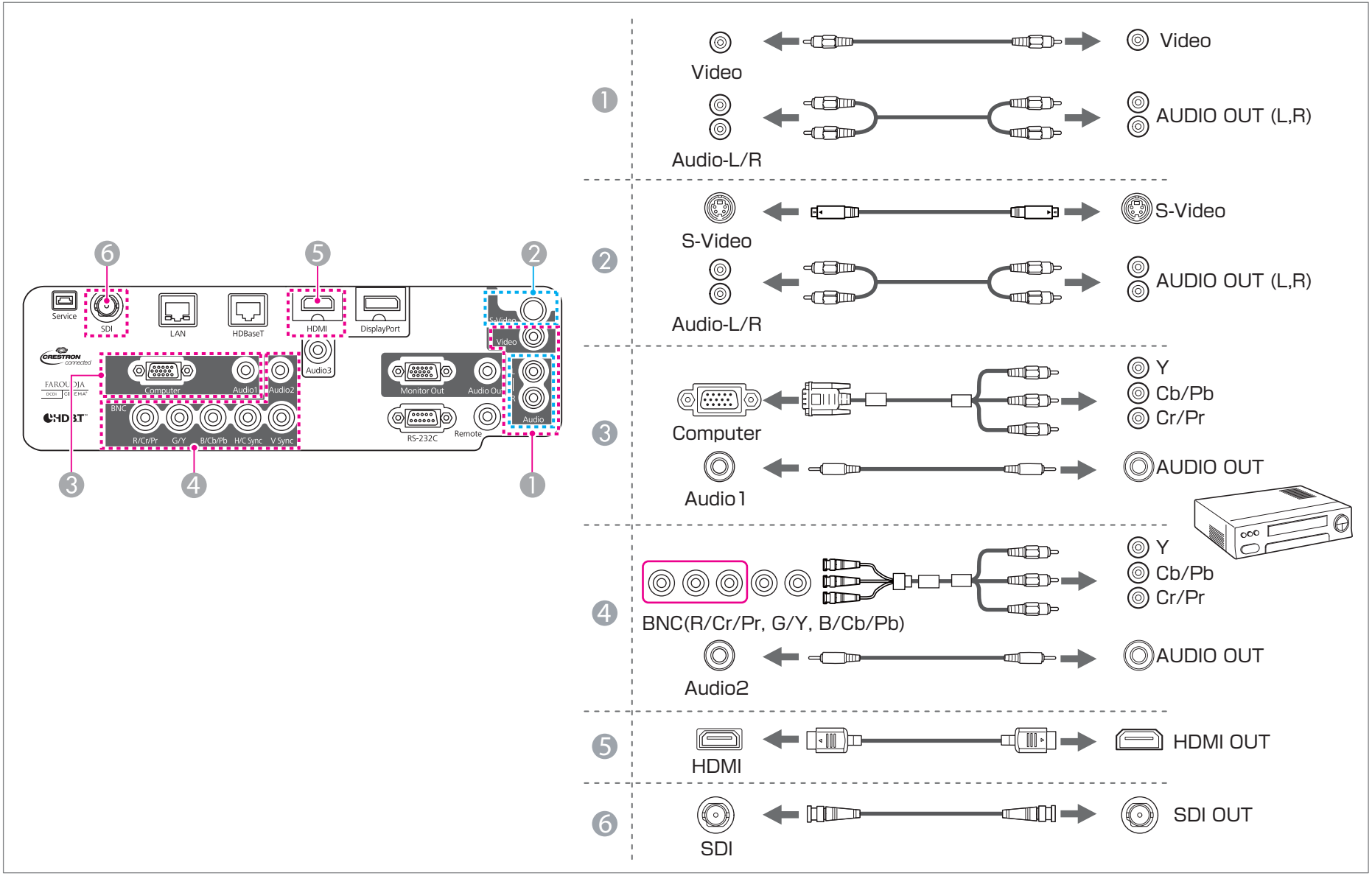
❷ **市販のS-ビデオケーブルを使用するとき**
映像機器のS-ビデオ出力端子と本機のS-Video入力端子を接続します。
音声を本機のAudio Out端子から出力するときは、市販のオーディオケーブルで、映像機器の音声出力端子と本機のAudio-L/R入力端子を接続します。

❸ **オプションのコンポーネントビデオケーブル（ELPKC19：D-sub/コンポーネント変換）を使用するとき**
映像機器のコンポーネント出力端子と本機のComputer入力端子を接続します。
音声を本機のAudio Out端子から出力するときは、市販のオーディオケーブルで、映像機器の音声出力端子と本機のAudio1入力端子を接続します。

❹ **市販のコンポーネントビデオケーブル（RCA）とBNC/RCAアダプターを使用するとき**
映像機器のコンポーネント出力端子と本機のBNC入力端子（R/Cr/Pr、G/Y、 B/Cb/Pb）を接続します。
音声を本機のAudio Out端子から出力するときは、市販のオーディオケーブルで、映像機器の音声出力端子と本機のAudio2入力端子を接続します。

❺ **市販のHDMIケーブルを使用するとき**
映像機器のHDMI端子と本機のHDMI入力端子を接続します。
映像機器の音声も本機のAudio Out端子から出力されます。

❻ **市販のBNCビデオケーブルを使用するとき**
映像機器のSDI端子と本機のSDI入力端子を接続します。
音声出力には対応していません。


Service
SDI
LAN
HDBaseT
HDMI
DisplayPort
S-Video
Video
Audio3
Computer
Audio1
Audio2
BNC
R/Cr/Pr
G/Y
B/Cb/Pb
H/C Sync
V Sync
Monitor Out
Audio Out
RS-232C
Remote
Audio
1 Video
Video
Audio-L/R
AUDIO OUT (L,R)
2 S-Video
S-Video
Audio-L/R
AUDIO OUT (L,R)
3 Computer
Y
Cb/Pb
Cr/Pr
Audio1
AUDIO OUT
4 BNC(R/Cr/Pr, G/Y, B/Cb/Pb)
Y
Cb/Pb
Cr/Pr
Audio2
AUDIO OUT
5 HDMI
HDMI OUT
6 SDI
SDI OUT

注意

- 接続機器の電源が入った状態で接続すると、故障の原因となります。
- プラグの向きや形状が異なった状態で無理に押し込まないでください。機器の破損や故障の原因になります。

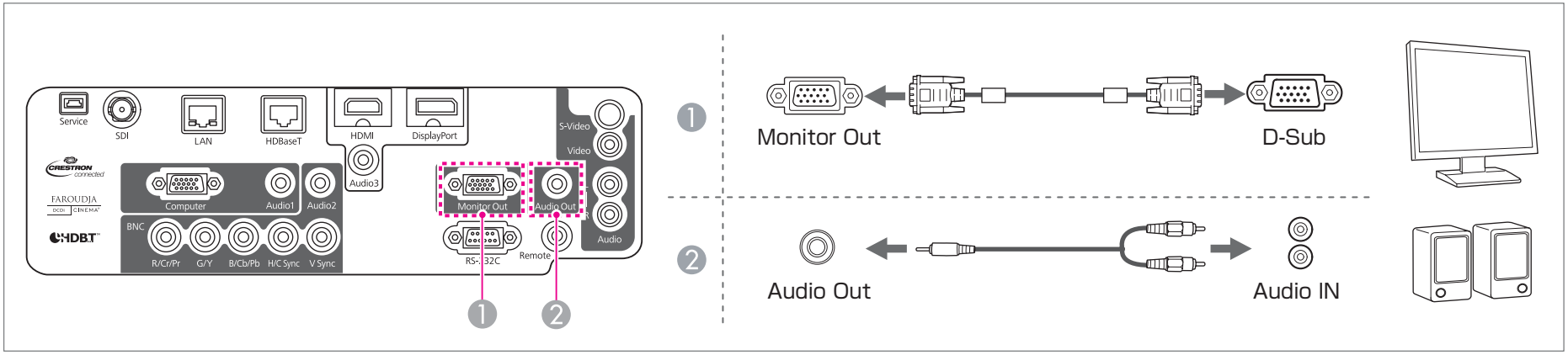
- ［音声出力設定］で出力する音声を切り替えられます。
  《【メニュー】ボタン→［拡張設定］→［A/V出力設定］→［音声出力設定］》
- HDMIケーブルから音声が転送されないときは、市販のオーディオケーブルでAudio3端子に音声を入力します。［HDMI音声出力］を［音声入力3］に設定してください。
  《【メニュー】ボタン→［拡張設定］→［A/V出力設定］→［音声出力設定］→［HDMI音声出力］》
- 接続する機器が特有の端子形状をしているときは、その機器に同梱またはオプションのケーブルで接続してください。
- 市販の2RCA（L・R）/ステレオミニピンオーディオケーブルを使うときは、「抵抗なし」と表記されているものをお使いください。

外部機器の接続

外部モニターやスピーカーを接続すると、映像や音声を外部に出力できます。

❶ **映像を外部モニターに出力するとき**
外部モニターに付属のケーブルで、外部モニターと本機のMonitor Out端子を接続します。

❷ **音声を外部スピーカーに出力するとき**
市販のオーディオケーブルで外部スピーカーと本機のAudio Out端子を接続します。

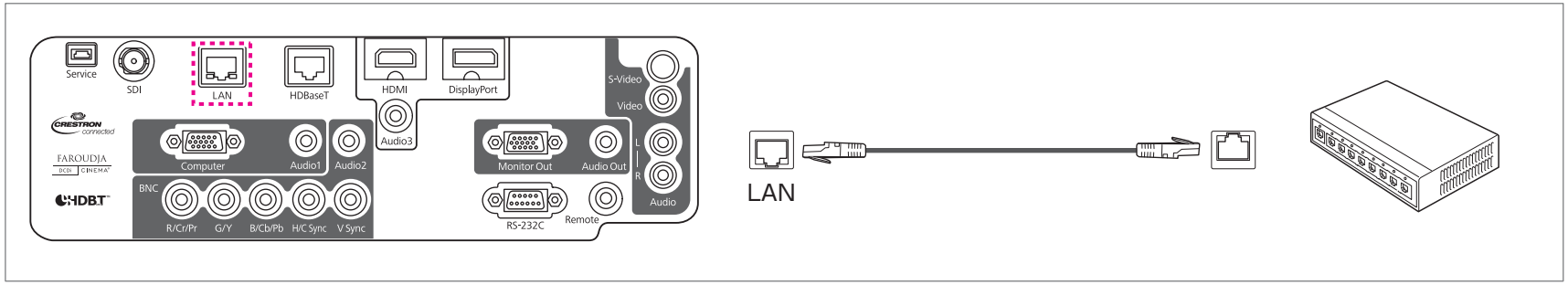


- 本機がスタンバイ状態のときに映像と音声を出力するには、以下の設定をします。
  [待機モード]を[通信オン]に設定する。
  《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[待機モード]》
  [A/V出力]を[常時]に設定する。
  《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[A/V出力設定]→[A/V出力]》
- 外部モニターに出力できる信号は、Computer入力端子またはBNC入力端子から入力されているアナログRGB信号のみです。

LANケーブルの接続

市販の100BASE-TXまたは10BASE-TタイプのLANケーブルで、ネットワークハブなどのLAN端子と本機のLAN端子を接続します。

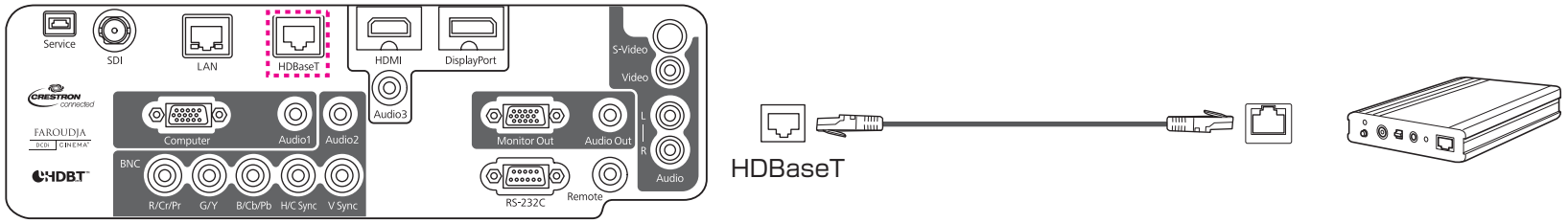
コンピューターとプロジェクターをネットワークで接続して映像を投写したり、プロジェクターの状態を確認したりできます。



誤作動防止のために、LANケーブルはカテゴリー5以上のシールド付きをお使いください。

HDBaseTトランスミッターの接続

市販の100BASE-TXタイプのLANケーブルで、オプション品のHDBaseTトランスミッターを接続します。



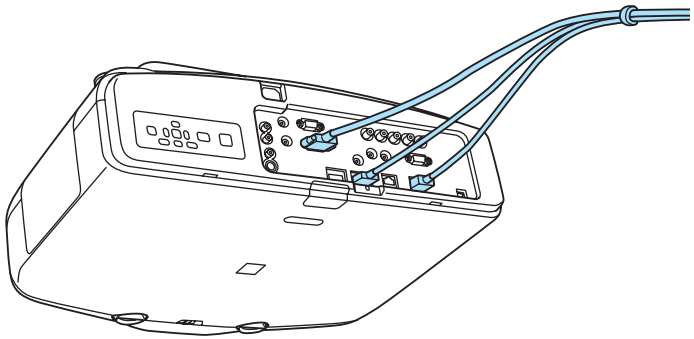
- HDBaseTトランスミッターに添付の取扱説明書をよくお読みください。HDBaseTトランスミッターはアース線を接地した状態でお使いください。
- LANケーブルはカテゴリー5eまたはカテゴリー6のシールド付きをお使いください。
- LANケーブルを抜き差しするときは、本機とHDBaseTトランスミッターの電源をオフにしてください。
- HDBaseT端子からEthernet通信やシリアル通信、有線リモコン制御をするときは、環境設定メニューの［制御通信］を［オン］にします。
  《【メニュー】ボタン→［拡張設定］→［HDBaseT設定］→［制御通信］》
  ［制御通信］を［オン］にすると、本機のLAN端子、RS-232C端子、Remote端子は無効になりますのでご注意ください。

ケーブルカバーの取り付け

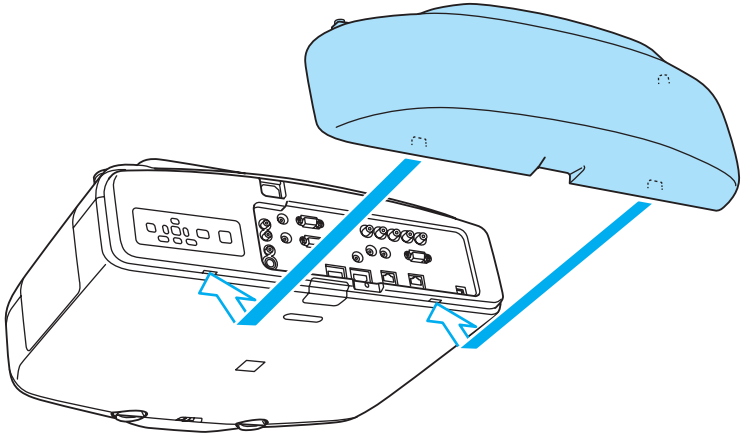
ケーブルカバーを装着すると、雑然としたケーブル類をきれいに包み隠しスッキリした外観となります。(イラストは天吊り設置時のものです。)

取り付け方

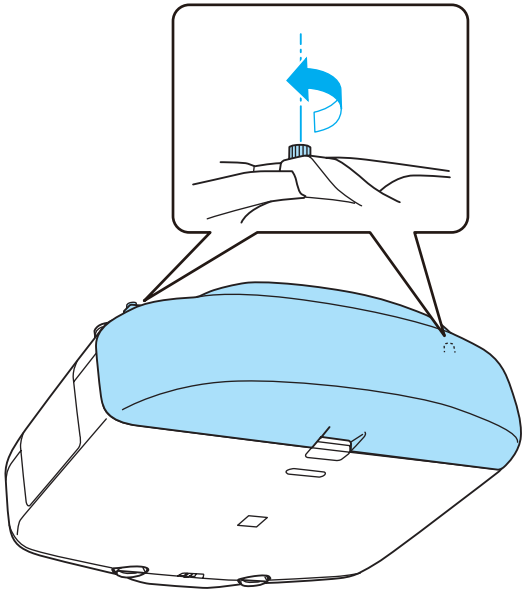
1 ケーブル類を結束バンド(市販品)で束ねます。



2 ケーブルカバーの突起を、本機背面の差込口(2ヶ所)に差し込みます。



3 ケーブルカバーのネジ(2ヵ所)を締めます。(ネジは手で締められます。)



映像のゆがみを補正する

投写映像のゆがみの補正や、補正方法の切り替えは以下の操作で行います。

操作パネル

【▱】ボタンを押します。現在、選択している補正方法が実行されます。

補正方法を変えるときは、【▱】ボタンを押してから【Esc】ボタンを押します。

リモコン

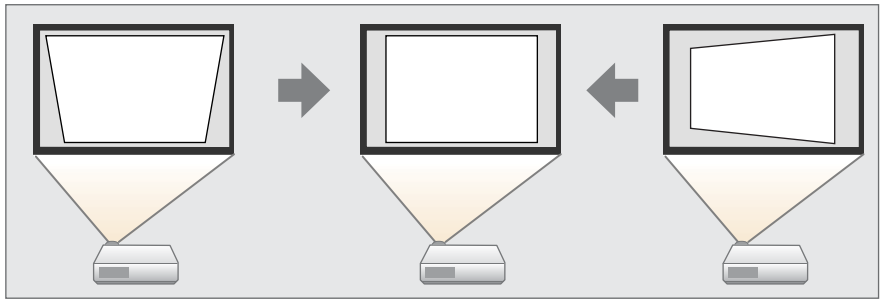
環境設定メニューの［幾何学歪み補正］から実行します。

《【メニュー】ボタン→［設定］→［幾何学歪み補正］》

- 投写映像の歪みを補正すると画面サイズは小さくなります。
- 複数の補正方法を組み合わせて使用することはできません。ただし、曲面投写補正、コーナー投写補正で補正後、ポイント補正で調整することはできます。

タテヨコ補正

タテ方向とヨコ方向の台形ゆがみを個別に補正します。



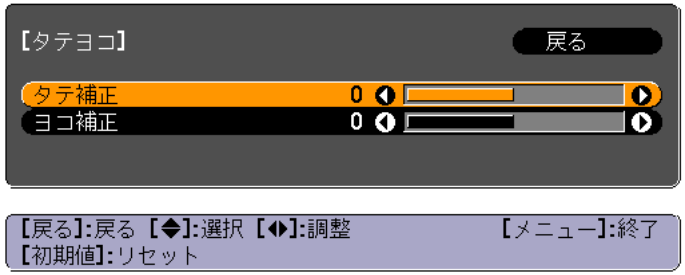
補正範囲

レンズシフトが中央の場合、スクリーンに対して本機の傾斜角度が、上下方向と左右方向それぞれ30°までであれば補正できます（短焦点レンズELPLU01をお使いのときは19°）。

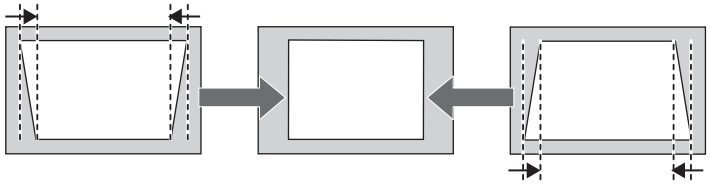
操作

1 **［幾何学歪み補正］で［タテヨコ］を選択します。**

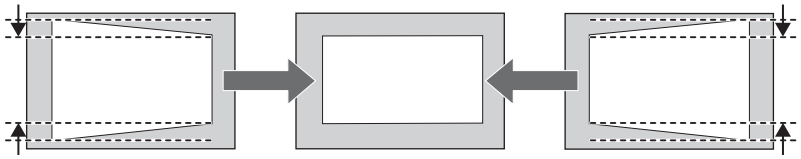
2 **【▲】【▼】ボタンで補正方法を選び、【◀】【▶】ボタンで補正します。**



タテ補正

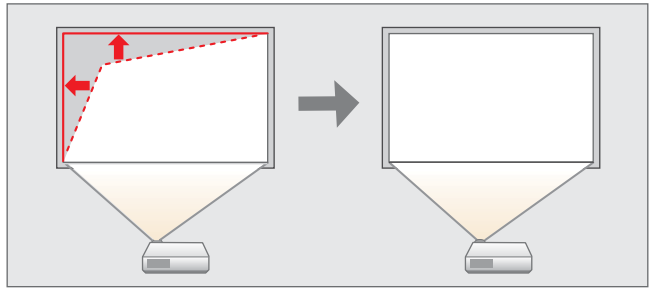


ヨコ補正



Quick Corner

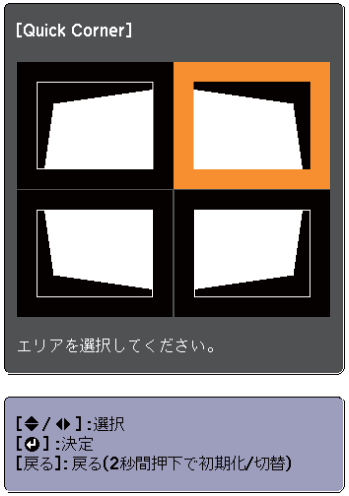
スクリーンに合わせて投写映像の4つのコーナーを個別に補正します。



操作

1 ［幾何学歪み補正］で［**Quick Corner**］を選択します。

2 補正するコーナーを【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで選択して、【↵】ボタンを押します。

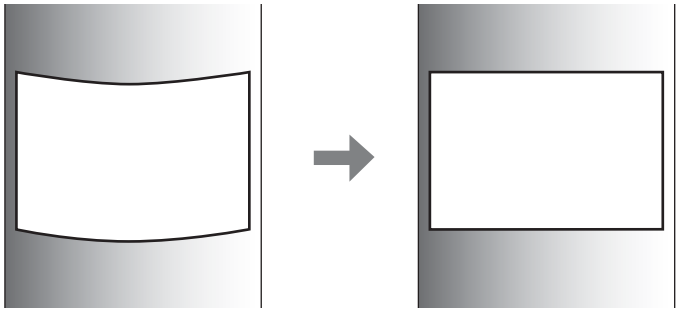


3 **【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンでコーナーの位置を補正します。**

補正中に「これ以上調整できません。」と表示されたときは、グレーの三角で示す部分が補正量の限界に達したことを示しています。

曲面投写補正

曲面に投写したときに発生する映像のゆがみを補正したり、伸び縮みを調整したりします。

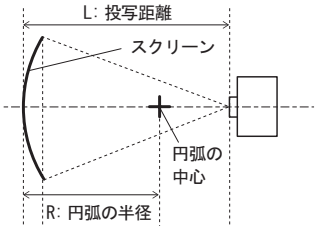
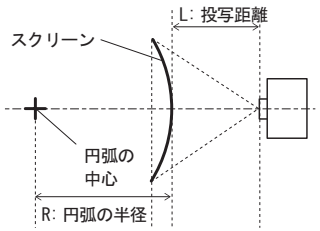
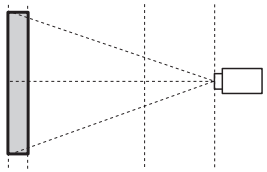
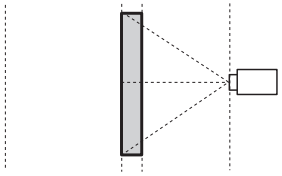
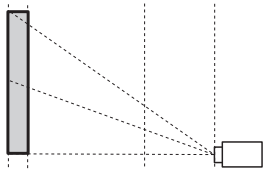
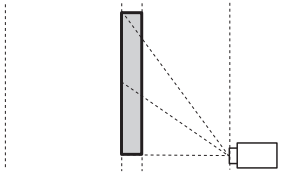


- 同じ半径の円弧の面に投写してください。
- 補正量が大きいと、ピントが均一にならない場合があります。

補正範囲

左右レンズシフトを中央にして正面から投写してください。補正範囲は次ページ以降のとおりです。

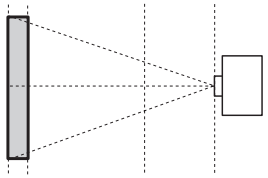
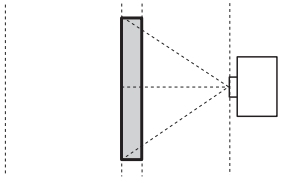
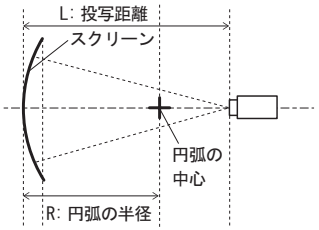
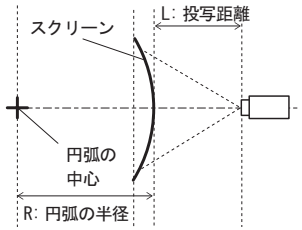
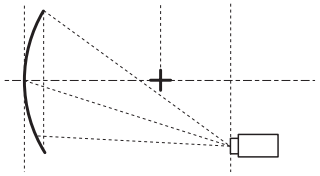
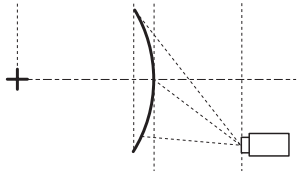
水平曲面

	凹面	凸面
真上から見たとき		
横から見たとき （上下レンズシフト：中央）		
横から見たとき （上下レンズシフト：最上）		

R/Lの最小値（ズーム最大で投写したときの、おおよその値です。ELPLR03はレンズシフトに対応していません。）

曲面	上下レンズシフト	レンズ					
		標準レンズ ELPLS06	短焦点レンズ ELPLU01	リア用短焦点 レンズELPLR03	中焦点レンズ ELPLM04	中焦点レンズ ELPLM05	長焦点レンズ ELPLL06
凹面	中央	0.4	1.4	0.9	0.2	0.1	0.1
	最上	0.9	3.6	-	0.3	0.2	0.1
凸面	中央	0.6	2.2	1.6	0.3	0.2	0.1
	最上	1.1	4.5	-	0.3	0.2	0.1

垂直曲面

	凹面	凸面
真上から見たとき		
横から見たとき （上下レンズシフト：中央）		
横から見たとき （上下レンズシフト：最上）		

R/Lの最小値（ズーム最大で投写したときの、おおよその値です。ELPLR03はレンズシフトに対応していません。）

曲面	上下レンズシフト	レンズ					
		標準レンズ ELPLS06	短焦点レンズ ELPLU01	リア用短焦点 レンズELPLR03	中焦点レンズ ELPLM04	中焦点レンズ ELPLM05	長焦点レンズ ELPLL06
凹面	中央	0.2	0.7	0.5	0.1	0.1	0.1
	最上	0.3	1.1	-	0.1	0.1	0.1
凸面	中央	0.3	1.3	0.8	0.2	0.1	0.1
	最上	0.4	1.6	-	0.2	0.1	0.1

操作

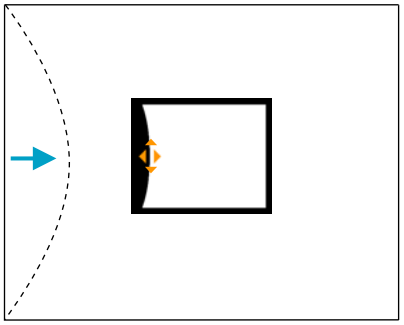
1 **［幾何学歪み補正］で［曲面投写補正］を選択します。**

2 **［形状補正］を選択します。**

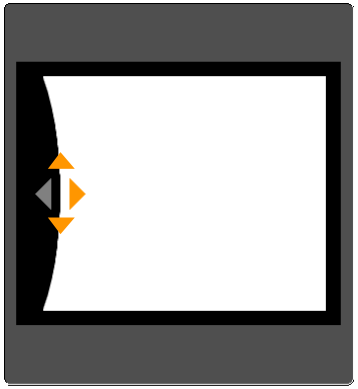
3 **補正するコーナーを【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで選択して、【↵】ボタンを押します。**

頂点を選択すると、隣接する2つの辺を調整できます。

4 **【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで辺の位置を補正します。**



補正中に以下の画面が表示されたときは、グレーの三角で示す部分が補正量の限界に達したことを示しています。



5 **【戻る】ボタンを押して、前の画面に戻ります。**

6 **手順3～5を繰り返して、補正が必要な箇所すべてを補正します。**

映像が伸縮しているときは、次の手順へ進んでリニアリティーを調整します。

7 **【戻る】ボタンを押して、［水平リニアリティー］または［垂直リニアリティー］を選択します。**

左右方向の伸縮を補正する場合は［水平リニアリティー］、上下方向の伸縮を補正する場合は、［垂直リニアリティー］を選択します。

8 **補正の基準線を選択し、【↵】ボタンを押します。**

［水平リニアリティー］選択時は【◀】【▶】ボタン、［垂直リニアリティー］選択時は【▲】【▼】ボタンで選択し、【↵】を押します。

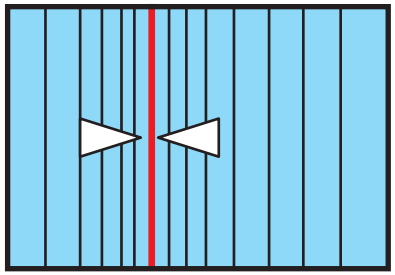
選択された基準線は赤と白の点滅で表示されます。

9 **伸縮補正をします。**

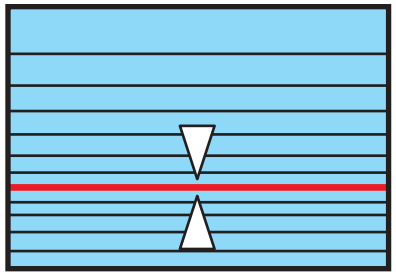
線と線の間が均等になるように補正します。

【◀】ボタンを押したとき

［水平リニアリティー］選択時

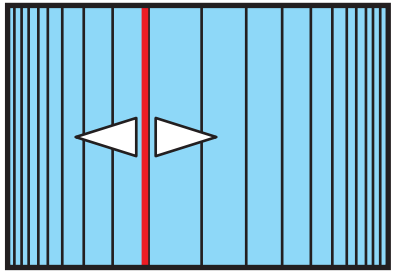


［垂直リニアリティー］選択時

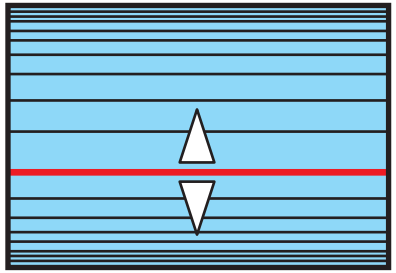


【▶】ボタンを押したとき

［水平リニアリティー］選択時



［垂直リニアリティー］選択時

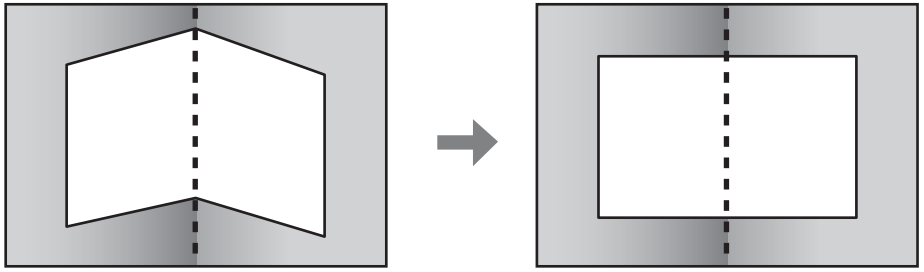


曲面投写補正で補正した結果を、ポイント補正で微調整できます。［幾何学歪み補正］を［ポイント補正］に切り替えて、［画面形状を維持する］を選択してから調整してください。

☛「ポイント補正」p.57

コーナー投写補正

四角い柱や部屋の隅の壁など、直角の面に投写したときに発生する映像のゆがみを補正したり、伸び縮みを調整します。

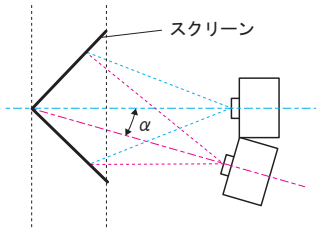
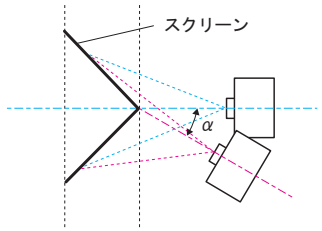
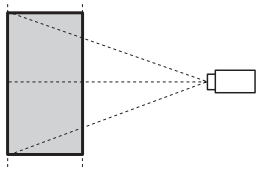
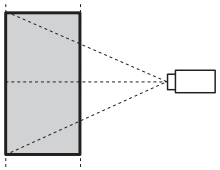
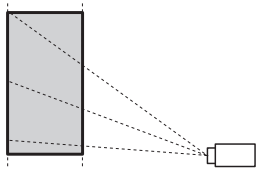
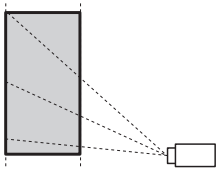


- 直角の面に対して投写してください。
- 補正量が大きいと、ピントが均一にならない場合があります。
- 短焦点レンズELPLU01をお使いのときは、コーナー投写補正で正しく補正できない場合があります。

補正範囲

直角の面に対して左右レンズシフトを中央にして投写してください。補正範囲は次ページ以降のとおりです。

水平コーナーの補正（角を中心線にして左右対称になるように補正）

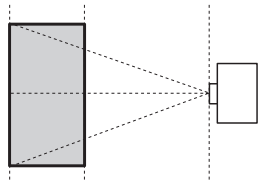
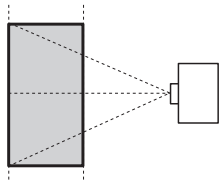
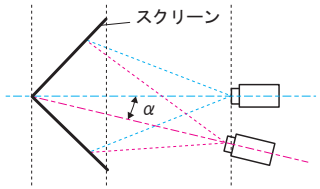
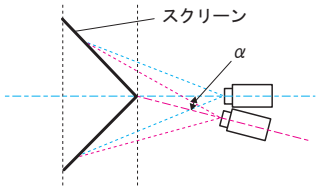
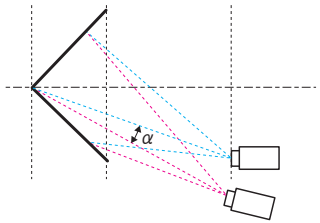
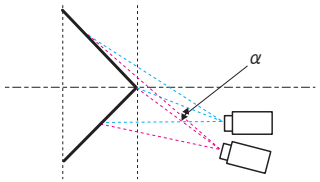
	凹面	凸面
真上から見たとき		
横から見たとき （上下レンズシフト：中央）		
横から見たとき （上下レンズシフト：最上）		

α：本機を移動できる最大角度（ズーム最大で投写したときの、おおよその値です。ELPLR03はレンズシフトに対応していません。）

コーナー	上下レンズシフト	レンズ					
		標準レンズ ELPLS06	短焦点レンズ ELPLU01	リア用短焦点 レンズELPLR03	中焦点レンズ ELPLM04	中焦点レンズ ELPLM05	長焦点レンズ ELPLL06
凹面	中央	17°	16°	17°	17°	17°	17°
	最上	8°	※	-	16°	16°	16°
凸面	中央	8°	0°	2°	12°	13°	15°
	最上	5°	※	-	10°	12°	14°

※　正しく補正できません。レンズシフトを中央にして投写してください。

垂直コーナーの補正（角を中心線にして上下対称になるように補正）

	凹面	凸面
真上から見たとき		
横から見たとき （上下レンズシフト：中央）		
横から見たとき （上下レンズシフト：最上）		

α：本機を移動できる最大角度（ズーム最大で投写したときの、おおよその値です。ELPLR03はレンズシフトに対応していません。）

コーナー	上下レンズシフト	レンズ					
		標準レンズ ELPLS06	短焦点レンズ ELPLU01	リア用短焦点 レンズELPLR03	中焦点レンズ ELPLM04	中焦点レンズ ELPLM05	長焦点レンズ ELPLL06
凹面	中央	12°	12°	12°	12°	12°	12°
	最上	※	※	-	2°	5°	8°
凸面	中央	5°	0°	1°	8°	10°	10°
	最上	※	※	-	0°	3°	6°

※　正しく補正できません。レンズシフトを中央にして投写してください。

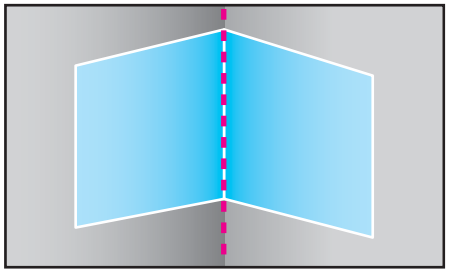
操作

1 **[幾何学歪み補正]で[コーナー投写補正]を選択します。**

2 **[コーナータイプ]を選択します。**

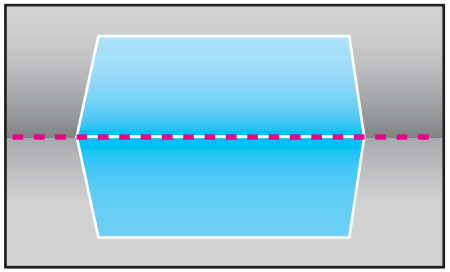
3 **投写する場所に合わせて、[水平コーナー]または[垂直コーナー]を選択し【↵】ボタンを押します。**

面と面が横に並んでいる場合



[水平コーナー]を選択します。

面と面が縦に並んでいる場合



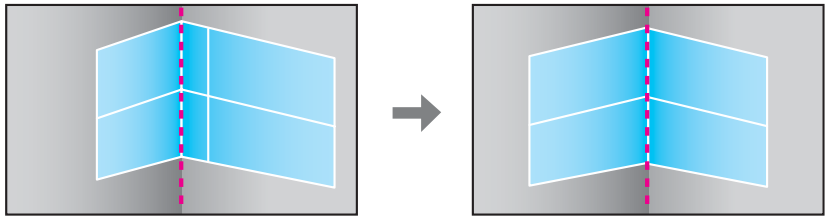
[垂直コーナー]を選択します。

以降、[水平コーナー]で補正するときを例に説明します。

4 **【戻る】ボタンを押し、[形状補正]を選択します。**

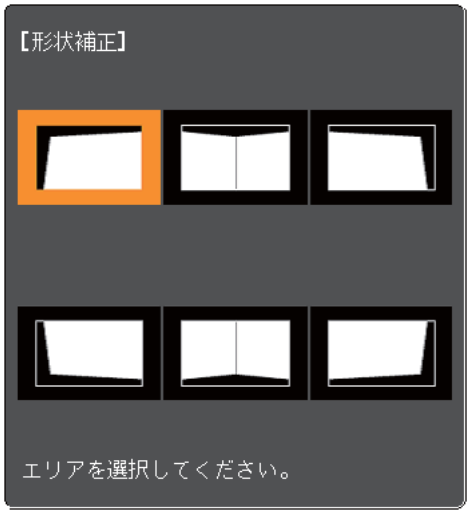
5 **調整用の画面の中央の線と、コーナー(2つの面が接する場所)の線が合うように、プロジェクターの位置やレンズシフトを調整します。**

☛「投写映像の位置調整(レンズシフト)」p.23



【↵】ボタンを押すたびに、画像や格子を表示/非表示できます。

6 **補正する箇所を【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで選択して【↵】ボタンを押します。**

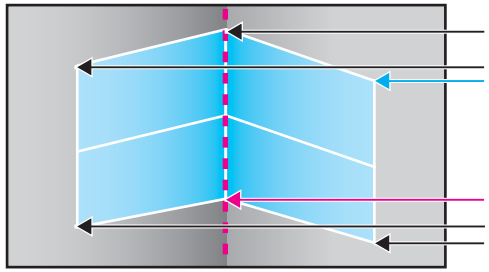


補正のポイント

［水平コーナー］選択時：

上部の補正は一番低い点（青の矢印が指している点）を基準にして補正します。

下部の補正は一番高い点（赤の矢印が指している点）を基準にして補正します。



［垂直コーナー］選択時：

左辺、右辺ともに画面中央の垂直線に一番近い点を基準にします。

7 **【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで形状を補正します。**

補正中に「これ以上調整できません。」と表示されたときは、グレーの三角で示す部分が補正量の限界に達したことを示しています。

8 **手順6と7を繰り返して、補正が必要な箇所すべてを補正します。**

映像が伸縮しているときは、次の手順へ進んでリニアリティーを調整します。

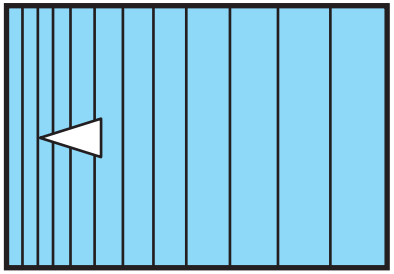
9 **【戻る】ボタンを押し、［リニアリティー］を選択します。**

10 **【◀】【▶】ボタンで伸縮補正をします。**

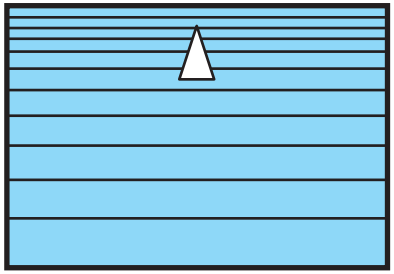
線と線の間が均等になるように補正します。

【◀】ボタンを押したとき

［水平コーナー］選択時

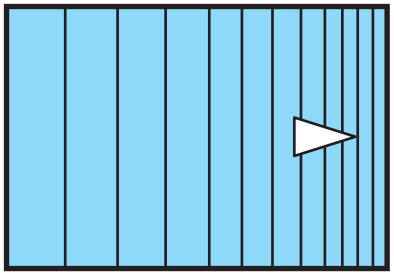


［垂直コーナー］選択時

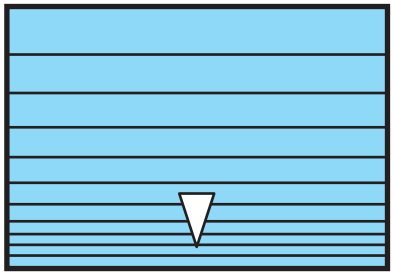


【▶】ボタンを押したとき

［水平コーナー］選択時



［垂直コーナー］選択時



コーナー投写補正で補正した結果を、ポイント補正で微調整できます。［幾何学歪み補正］を［ポイント補正］に切り替えて、［画面形状を維持する］を選択してから調整してください。

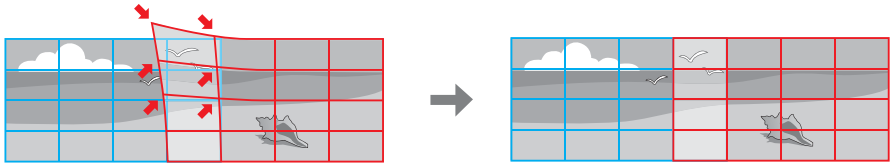
☛「ポイント補正」p.57

ポイント補正

2つ以上の映像を重ね合わせたときに、映像の重なり合う部分のズレを微調整します。

投写画像を格子で区切り、格子の交点を上下左右に移動させることで補正します。

その他、部分的に発生するわずかなゆがみを補正するときに使用します。



補正範囲

各方向にそれぞれ0.5画素ずつ、上下方向、左右方向に最大48画素の範囲で補正できます。

曲面投写補正、コーナー投写補正で補正した結果を微調整する場合は、上下方向、左右方向に最大10画素の範囲で調整できます。

操作

1 **［幾何学歪み補正］で［ポイント補正］を選択します。**

［ポイント補正］：ポイント数（［3x3］、［5x5］、［9x9］）を選択し、ポイント補正を行います。

［パターン色］：補正時に表示する格子の色を選択します。

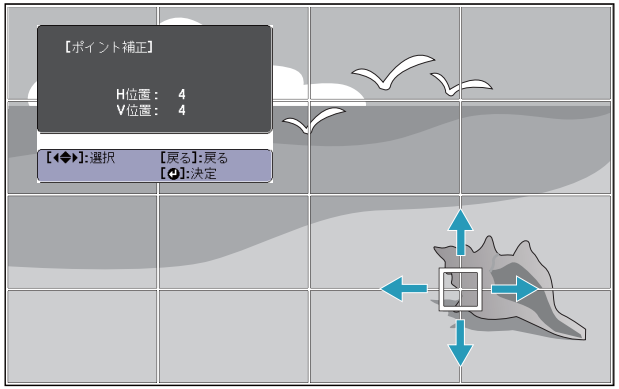
［初期化］：［ポイント補正］の補正値、設定値をすべて初期値に戻します。

> 曲面投写補正、コーナー投写補正からポイント補正に切り替えたときは、補正方法を選択する画面が表示されます。
>
> ［画面形状を維持する］：曲面投写補正またはコーナー投写補正で補正した画面に対して、ポイント補正で微調整します。
>
> ［画面形状を初期化する］：曲面投写補正またはコーナー投写補正の補正した画面を初期状態に戻し、改めてポイント補正で補正します。

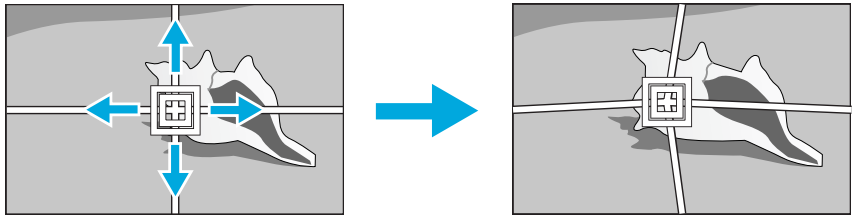
2 **［ポイント補正］を選択し、【⏎】ボタンを押します。**

ポイントの数（［3x3］、［5x5］、［9x9］）を選択します。

3 **【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンでガイドを補正したいポイントに合わせ、【⏎】ボタンを押します。**



4 【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンでゆがみを補正します。



【↵】ボタンを押すたびに、画像や格子を表示/非表示できます。

投写映像のアスペクト比を切り替える

入力信号の種類、縦横比、解像度に合わせて、投写映像のアスペクト比を切り替えます。

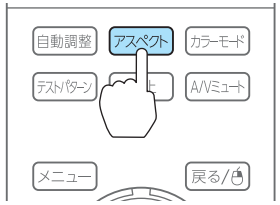
スクリーンタイプの設定により、選択できるアスペクトモードは異なります。

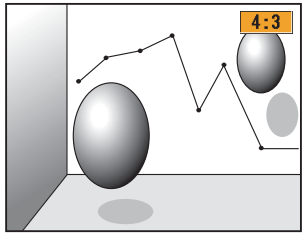
アスペクト比を切り替える前に、[スクリーンタイプ]を設定してください。 ☛ p.26

切り替え方法

リモコンの【アスペクト】ボタンを押すたびに画面上にアスペクトモード名が表示され、アスペクト比が切り替わります。

リモコン





アスペクトモード	説明
オート	入力した信号の情報に基づき適切なアスペクト比で投写します。
ノーマル	入力した映像のアスペクト比のまま投写します。
4:3	4:3のアスペクト比で投写します。
16:9	16:9のアスペクト比で投写します。
フル	画面いっぱいに投写します。
ズーム	入力した映像のアスペクト比のまま横方向が画面いっぱいになるように投写します。画面からはみ出した分は投写されません。
リアル	入力した映像の解像度のまま画面の中央に投写します。画面からはみ出した分は投写されません。

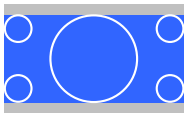
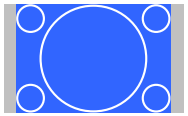
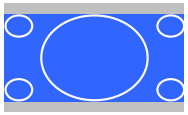
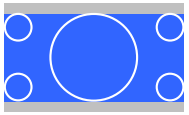
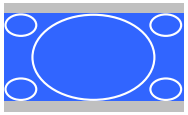
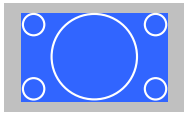
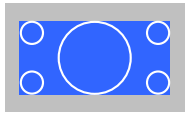
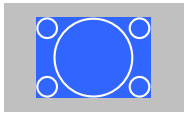
アスペクトモードは以下のように切り替わります。

また、画面図の見方は次の通りです。

■：スクリーンタイプの設定により映像が表示されない領域。

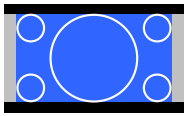
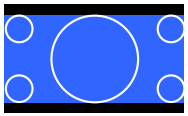
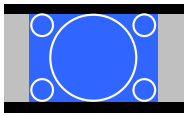
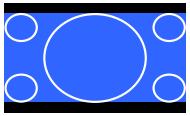
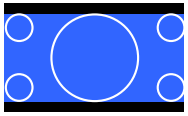
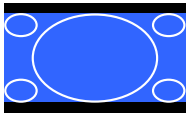
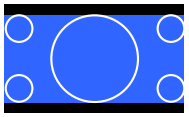
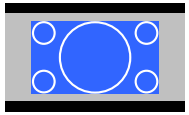
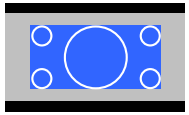
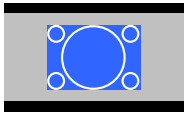
▭：アスペクトモードの設定により映像が表示されない領域。

スクリーンタイプの設定：16:10

	入力信号のアスペクト比		
	16:10	16:9	4:3
オート/ノーマル			
16:9			
フル			
ズーム			
リアル※			

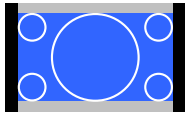
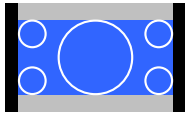
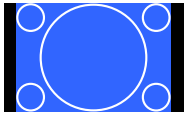
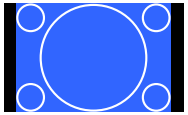
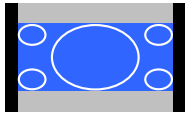
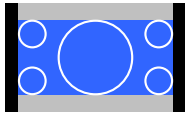
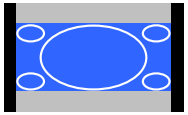
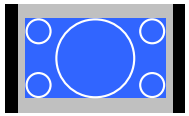
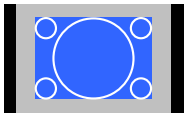
※　入力信号の解像度によっては、イメージと異なる場合があります。

スクリーンタイプの設定：16:9

	入力信号のアスペクト比		
	16:10	16:9	4:3
オート/ノーマル			
フル			
ズーム			
リアル※			

※　入力信号の解像度によっては、イメージと異なる場合があります。

スクリーンタイプの設定：4:3

	入力信号のアスペクト比		
	16:10	16:9	4:3
オート/ノーマル			
4:3			
16:9			
リアル※			

※　コンピューター映像と、HDMI入力端子/HDBaseT端子からの映像のみ。入力信号の解像度によっては、イメージと異なる場合があります。

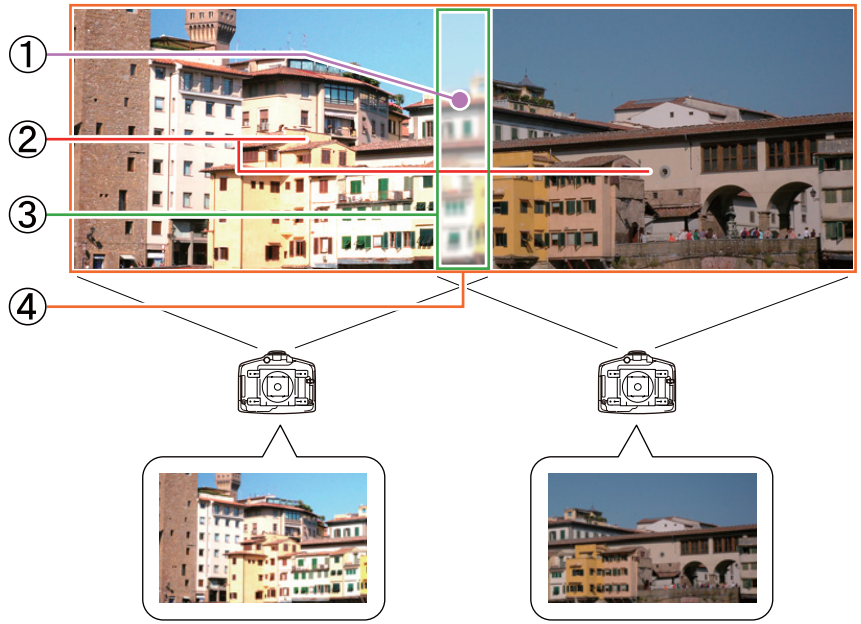
マルチプロジェクション

準備

- プロジェクターにIDを設定します。
  《【メニュー】ボタン→［拡張設定］→［マルチプロジェクション］→［プロジェクターID］》
  プロジェクターを操作するときは、①リモコンの【ID】スイッチをOnにして、②【ID】ボタンを押したまま、③プロジェクターのIDと同じ数字のボタンを押します。
  プロジェクターのIDを確認するときは、リモコンの【ID】ボタンを押したまま【ヘルプ】ボタンを押すと、投写画面に表示されます。
- プロジェクターの向きや、レンズシフトを使って投写映像の位置を調整します。 ☛ p.21
- リモコンの【カラーモード】ボタンでカラーモードを［マルチプロジェクション］（3D映像のときは［3Dマルチプロジェクション］）に設定します。

- プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しませんので、映像を投写し始めてから30分以上たってから設定を行うことをお勧めします。
- ［幾何学歪み補正］の補正値が大きいと、投写映像を重ねたときに、映像の位置を合わせるのが困難になります。
- 拡大・縮小などの処理を加えずにそのまま表示できるドットバイドットの画像を使うと、補正作業を簡単に行えます。

手順の流れ



① 投写映像を合わせたときのわずかな位置ズレを補正する ☛「①ポイント補正」p.60
② プロジェクターのランプ個体の明るさによる明暗の差を調整する ☛「②明るさ補正」p.61
③ 映像が重なりあった部分を目立たなくする ☛「③エッジブレンディング」p.61
④ 投写映像の色合いのバランスを調整する ☛「④マルチスクリーン」p.64

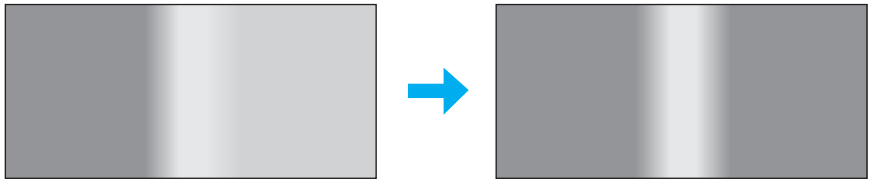
①ポイント補正

p.57を参照してください。

②明るさ補正

それぞれのプロジェクターのランプ個体の明るさが同じになるように[明るさレベル]を調整します。

《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[マルチプロジェクション]→[明るさレベル]》

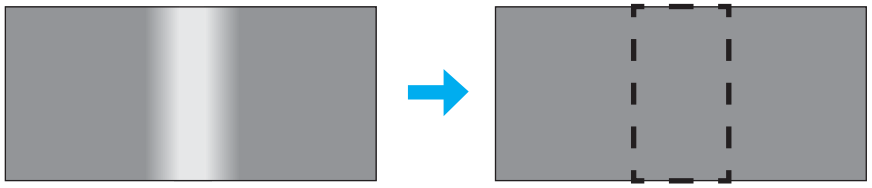


一番暗いランプを基準に調整してください。明るさは5段階で調整できます。

- [節電モード]を[オフ]に設定してください。
  《【メニュー】ボタン→[設定]→[節電モード]》
- [明るさレベル]を調整しても、それぞれのランプの明るさが完全に一致しない場合があります。

③エッジブレンディング

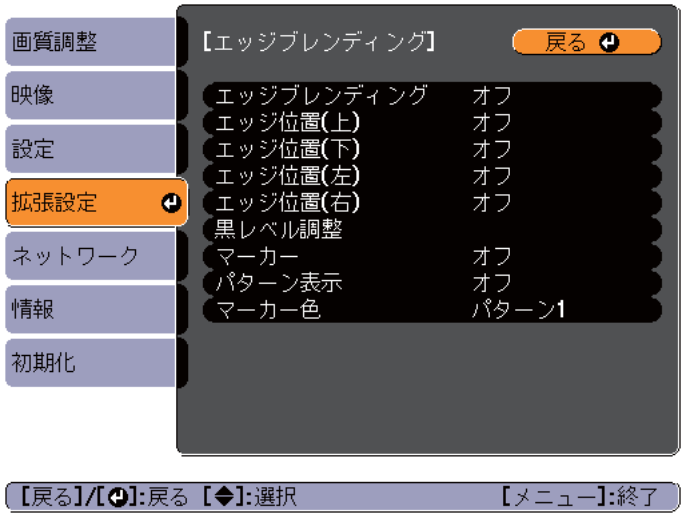
映像のつなぎ目を目立たなくします。



環境設定メニューの[エッジブレンディング]から行います。

《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[マルチプロジェクション]→[エッジブレンディング]》

以下の画面が表示されます。

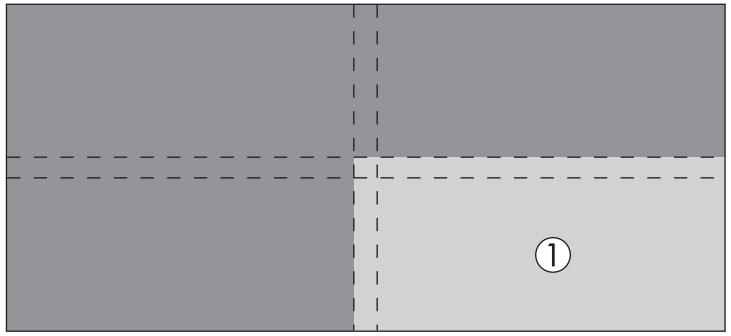


操作

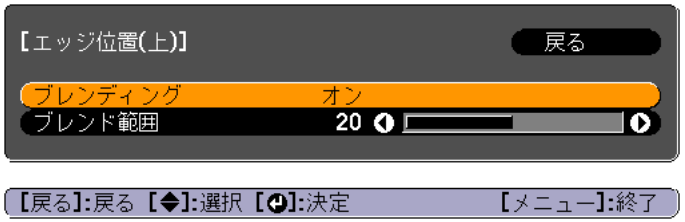
1 **上記の画面から[エッジブレンディング]、[マーカー]、[パターン表示]を[オン]にします。**

2 **映像が重なり合っている箇所に合わせて、[エッジ位置]を設定します。**

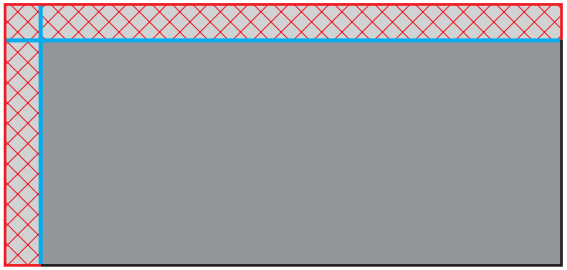
例：①の画面に対して設定を行うとき



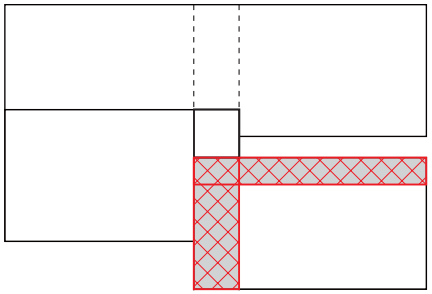
投写映像の上側と左側が重なり合うので、［エッジ位置（上）］、［エッジ位置（左）］を選択し、［ブレンディング］を［オン］に設定します。



ブレンディングをかける範囲がマーカー表示されます。



［ブレンド範囲］でグラデーションをかける範囲を調整します。1画素単位での調整が可能です。グラデーションをかけられる範囲は、プロジェクターのパネル解像度（映像を表示できる最大領域）に対して45%までです。



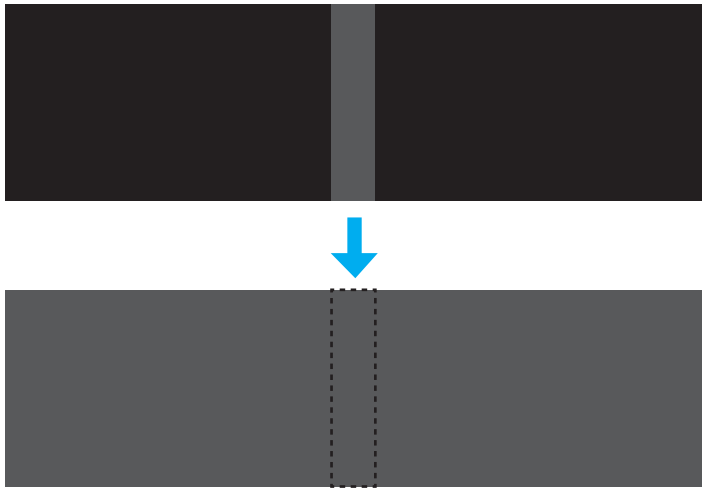
映像の重なり合う範囲とマーカーの位置が等しくなる値が最適になります。

- マーカーの色は［マーカー色］で選択できます。
- グラデーションをかけられる範囲は、接続機器によっても異なりますのでご確認ください。

3 調整が終了したら、［マーカー］と［パターン表示］を［オフ］にします。

黒レベル調整

黒色を表示したときに、映像が重なった箇所だけ明るく目立つ場合があります。黒レベル調整は、映像が重なっていない箇所の明るさや色合いを、重なった箇所に合わせ、目立たなくする機能です。



- ［黒レベル調整］で正しく調整できるのは、重なり合う2つの画面に対してのみです。
- テストパターン表示中は、黒レベル調整はできません。
- ［幾何学歪み補正］の補正値が大きいときは、正しく調整できない場合があります。
- 黒レベル調整を行っても、映像が重なり合っている箇所やその他の箇所で、明るさや色合いが異なる場合があります。
- ［エッジ位置(上)/(下)/(右)/(左)］の設定を変更すると、黒レベル調整の調整値は初期値に戻ります。

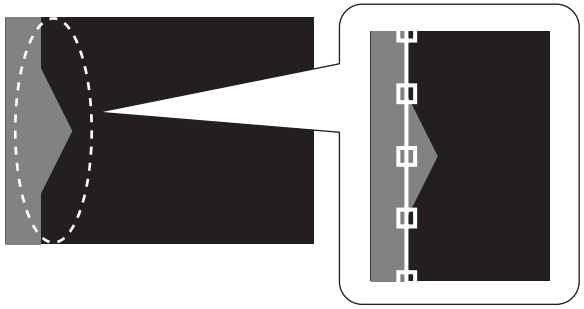
1 **［黒レベル調整］→［エリア補正］を選び、黒レベル調整を行う範囲を設定します。**

黒レベル調整を行う範囲を設定するポイントが表示されます。

ポイントは［エッジ位置(上)/(下)/(右)/(左)］の設定に合わせて表示されます。

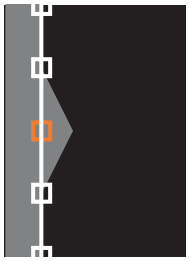
1つの辺に表示されるポイントの数は幾何学歪み補正で選択している補正方法により異なります。

例：［エッジ位置(左)］に設定、［ポイント補正］(5x5)を選択しているとき

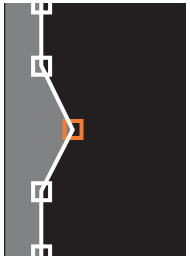


2 **【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで移動するポイントを選択し、【↵】ボタンを押します。**

選択しているポイントはオレンジ色で表示されます。



3 【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンでポイントを移動します。

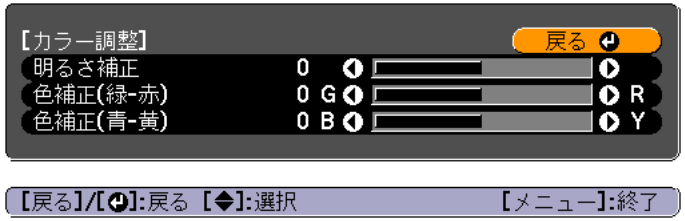


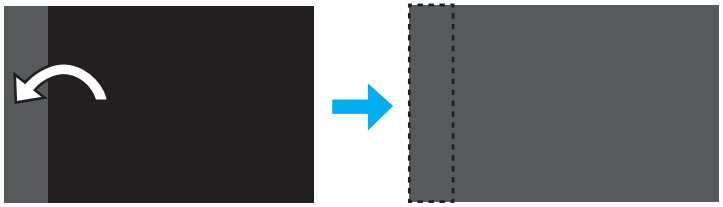
続けて他のポイントを移動する場合は、【戻る】ボタンを押して手順2に戻り、手順2、3を行います。

4 必要なポイントをすべて移動したら、【戻る】ボタンを押して手順2に戻り、もう一度【戻る】ボタンを押します。メッセージが表示されたら［はい］を選択し、【↵】ボタンを押します。手順1の画面が表示されます。

5 ［カラー調整］を選びます。

6 映像が重なった箇所に合わせて、重なっていない箇所の明るさや色合いを調整します。





④マルチスクリーン

エッジブレンディングで補正した投写映像の明るさや色合いのバランスを調整します。

環境設定メニューの［マルチスクリーン］から実行します。

《【メニュー】ボタン → ［拡張設定］ → ［マルチプロジェクション］ → ［マルチスクリーン］》

以下の画面が表示されます。

［調整レベル］：白 - グレー - 黒まで5つのレベルがあります。それぞれのレベルに対して調整を行います。

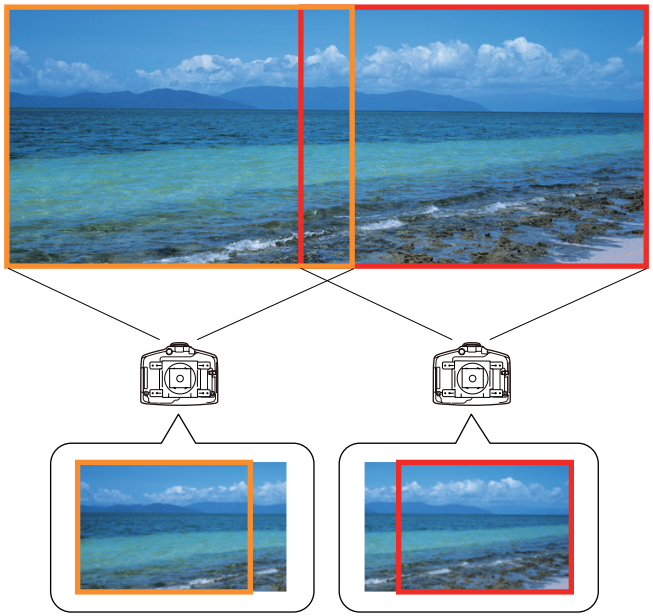
［明るさ補正］：明るさを全白から全黒の間で色階調ごとに調整します。

［色補正(緑-赤)］：緑～赤の色味を調整します。

［色補正(青-黄)］：青～黄の色味を調整します。

表示倍率変更

投写中の映像を部分的に切り出して表示します。他のプロジェクターの投写映像と合わせて、1つの大きな映像を作ります。



表示倍率機能で映像を拡大して表示すると、画質が粗くなる場合があります。

本機で投写する映像を、以下の手順で調整します。

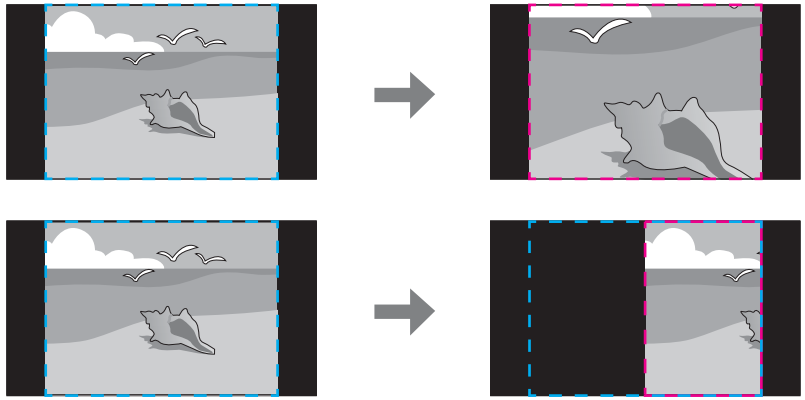
1 **映像を投写し、［表示倍率変更］を［オン］にします。**

《【メニュー】ボタン →［映像］→［表示倍率変更］》

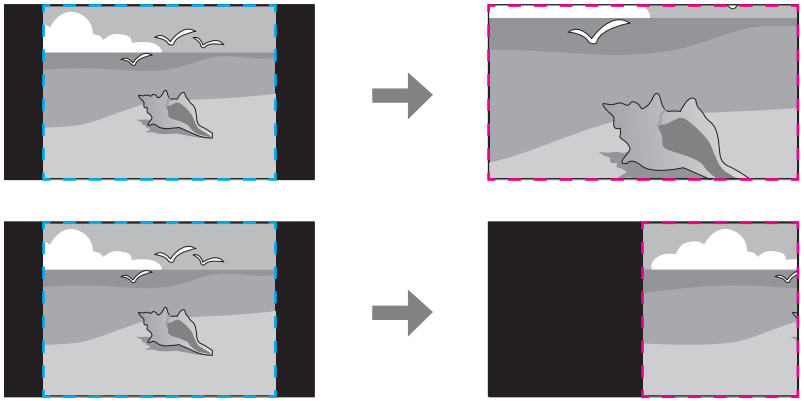
2 **［表示倍率モード］を設定します。**

［ズーム表示］、［フル表示］のいずれかを選択します。

［ズーム表示］：現在表示している映像のサイズを基準にして調整します。



［フル表示］：プロジェクターのパネルサイズ（映像を表示できる最大領域）を基準にして調整します。



3 **表示倍率を調整します。**

1000%に拡大 ～ 50%に縮小の間で調整できます。

［-］［+］：垂直方向、水平方向同時に映像を拡大/縮小します。

［タテ倍率］：垂直方向に映像を拡大/縮小します。

［ヨコ倍率］：水平方向に映像を拡大/縮小します。

4 **［映像表示範囲］を調整します。**

【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで映像をスクロールして、映像の座標やサイズを調整します。

3D映像を投写する

本機を2台使用してパッシブ方式の3D映像を投写できます。3D映像を投写して視聴するには以下の市販品をご用意ください。

- 円偏光板（右目用・左目用）＋パッシブ型円偏光3Dメガネ
  または、直線偏光（ハの字型）板（右目用・左目用）＋パッシブ型直線偏光（ハの字型）3Dメガネ
- 投写面がパッシブ方式3D専用のシルバースクリーン（市販）

注意
プロジェクターを直接重ねて投写しないでください。

本機はR（赤）、G（緑）、B（青）の偏光方向をそろえて投写します。G（緑）の映像信号を右目用と左目用とで入れ替える必要はありません。

3D映像を投写するときは環境設定メニューの［3D映像］を［オン］に設定します。

《【メニュー】ボタン→［映像］→［3D設定］→［3D映像］》

3D映像投写時のカラーモードは以下の通りです。

- 3Dダイナミック
- 3Dプレゼンテーション
- 3Dシアター
- 3Dマルチプロジェクション

映像のメンテナンス

液晶アライメント

液晶パネルの画素の色ずれを調整します。水平方向、垂直方向に0.25画素ずつ、それぞれ±1画素の範囲内で調整できます。

環境設定メニューの［液晶アライメント］から実行します。

《【メニュー】ボタン→［拡張設定］→［表示設定］→［液晶アライメント］》

- 液晶アライメントで調整後は映像が劣化する場合があります。
- 画面からはみ出した画素分の映像は表示されません。

以下の画面が表示されます。

操作

1 ［液晶アライメント］を有効にします。

(1) ［液晶アライメント］を選択し、【↵】ボタンを押します。

(2) ［オン］を選択し、【↵】ボタンを押します。

(3) 【戻る】ボタンを押して前の画面に戻ります。

2 調整する色を選びます。

(1) ［調整色］を選択し、【↵】ボタンを押します。

(2) ［R］（赤）、［B］（青）のいずれかを選択し、【↵】ボタンを押します。

(3) 【戻る】ボタンを押して前の画面に戻ります。

3 ［パターン色］で調整時に表示する格子の色を選びます。

(1) ［パターン色］を選択し、【↵】ボタンを押します。

(2) 格子の色をR（赤）、G（緑）、B（青）の組み合わせで選びます。

［R/G/B］：R、G、Bの3色で表示します。実際の格子の色は白になります。

［R/G］：［調整色］を［R］にしているときに選択できます。R、Gの2色で表示します。実際の格子の色は黄色になります。

［G/B］：調整色を［B］にしているときに選択できます。G、Bの2色で表示します。実際の格子の色はシアンになります。

(3) 【戻る】ボタンを押して前の画面に戻ります。

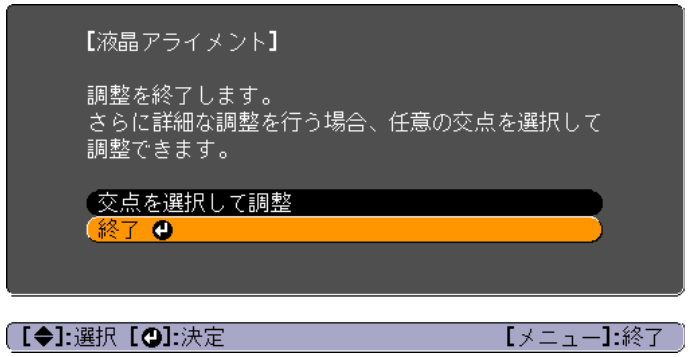
4 ［調整開始］を選択し、【↵】ボタンを押します。メッセージが表示されるので、もう一度、【↵】ボタンを押します。

調整が始まります。調整は左上から順に4隅で行います。

調整中は映像がゆがむ場合があります。調整を終了すると、もとに戻ります。

5 【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで調整し、【↵】ボタンを押して次の調整ポイントへ進みます。

6 4隅の調整後、［終了］を選択し、【↵】ボタンを押します。



4点での調整が不十分の場合は、［交点を選択して調整］を選択して調整を続けます。

ユニフォーミティー

画面全体の色味を調整します。

環境設定メニューの［ユニフォーミティー］から実行します。

《【メニュー】ボタン→［拡張設定］→［表示設定］→［ユニフォーミティー］》

ユニフォーミティーを調整後も色味が均一にならない場合があります。

以下の画面が表示されます。

［ユニフォーミティー］を調整中は映像がゆがむ場合があります。調整を終了すると、もとに戻ります。

操作

1 ［調整レベル］を選択し、【↵】ボタンを押します。

2 【◀】【▶】ボタンで調整レベルを設定します。

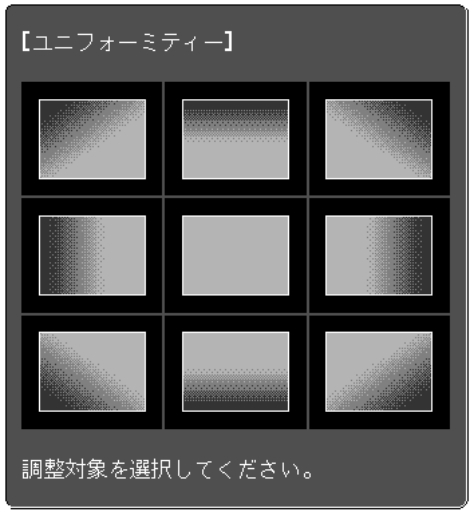
白 - グレー - 黒まで5つのレベルがあります。

3 【戻る】ボタンを押して前の画面に戻ります。

4 ［調整開始］を選択し、【↵】ボタンを押します。

5 **【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで調整する箇所を選択し、【↵】ボタンを押します。**

中央を選択すると画面全体に対して調整を行います。先に周囲を調整してから、最後に画面全体を調整してください。



6 **【▲】【▼】ボタンで調整する色を選び、【◀】【▶】ボタンで調整します。**

【◀】ボタンを押すと色味が弱くなります。【▶】ボタンを押すと色味が強くなります。

7 **手順1に戻り、それぞれのレベルで調整を行います。**

利用者を管理する(パスワードプロテクト)

パスワードプロテクト機能を有効にすると、電源を入れてもパスワードを知らない人は投写できません。さらに、電源を入れたときに表示される社名ロゴ等を変更できなくなります。この結果、本機を持ち出しても使用できないため、盗難等の防止につながります。ご購入時は、パスワードプロテクト機能は無効になっています。

パスワードプロテクトの種類

本機のパスワードプロテクトは利用シーンに応じて次の3種類の設定ができます。

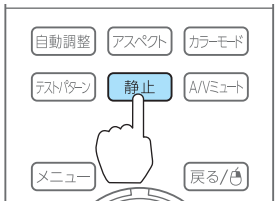
- [電源投入時]
  [電源投入時]を[オン]にすると、電源コードで本機とコンセントを接続後、最初に電源を入れたとき(ダイレクトパワーオンも同様)に、事前に設定してあるパスワードの入力が要求されます。正しいパスワードを入力しないと、投写は開始しません。
- [ユーザーロゴ保護]
  せっかくプロジェクターの所有者を明示するためにユーザーロゴを登録していても、ロゴ表示を変更されては意味がありません。[ユーザーロゴ保護]を[オン]にすると、ユーザーロゴに関する次の設定変更を禁止できます。
  - ユーザーロゴのキャプチャー
  - [表示設定]の[背景表示]、[スタートアップスクリーン]、[A/Vミュート]の設定
    《【メニュー】ボタン→[拡張設定]→[表示設定]》
- [ネットワーク保護]
  [ネットワーク保護]を[オン]にすると、[ネットワーク]の設定変更を禁止できます。
  ☛「ネットワーク設定」p.75
- [時刻/スケジュール保護]
  [時刻/スケジュール保護]を[オン]にすると、本機のシステム時刻やスケジュール設定の変更を禁止できます。

パスワードプロテクトの設定方法

パスワードプロテクトの設定は、下記の手順で行います。

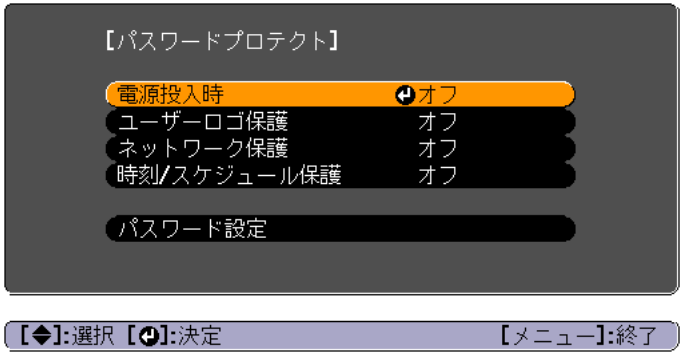
1 **投写中に【静止】ボタンを約5秒間押し続けます。**
パスワードプロテクト設定メニューが表示されます。

リモコン



すでにパスワードプロテクトが有効になっていると、パスワードの入力が要求されます。
パスワードを正しく入力するとパスワードプロテクト設定メニューが表示されます。
☛「パスワードの認証」p.71

2 **設定したいパスワードプロテクトの種類を選択し、【↵】ボタンを押します。**



3 **[オン]を選択し、【↵】ボタンを押します。**

【戻る】ボタンを押して、手順2の画面に戻ります。

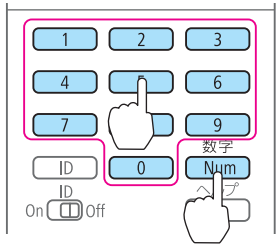
4 **パスワードを設定します。**

(1) [パスワード設定]を選択し、【↵】ボタンを押します。

(2) 「パスワードを変更しますか？」と表示されるので、[はい]を選択し、【↵】ボタンを押します。初期設定でパスワードは「0000」に設定されています。必ず任意のパスワードに変更してください。[いいえ]を選択すると、手順2の画面に戻ります。

(3) 【Num】ボタンを押したまま、テンキー部の数字のボタンで4桁の数字を入力します。入力したパスワードは「****」と表示されます。4桁目を入力すると、確認画面に切り替わります。

リモコン

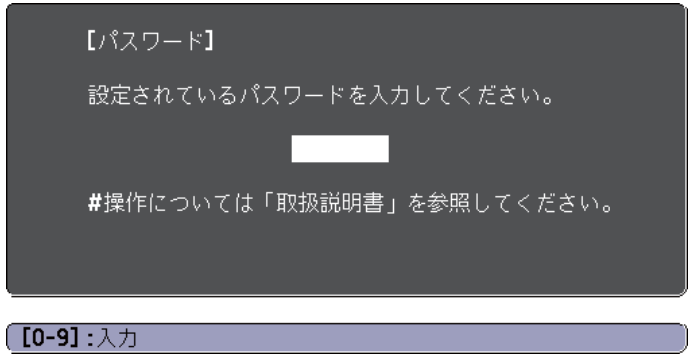


(4) 入力したパスワードを再度入力します。
「パスワード設定が終了しました。」とメッセージが表示されます。
間違えてパスワードを入力した場合は、メッセージが表示されますのでパスワード設定をやり直してください。

パスワードの認証

パスワードの入力画面が表示されたら、設定してあるパスワードをリモコンで入力します。

【Num】ボタンを押したまま、テンキー部の数字のボタンを押してパスワードを入力します。



正しいパスワードを入力すると、一時的にパスワードプロテクトが解除されます。

注意

- パスワードに関してお問い合わせいただいた際は、お客様のお名前や連絡先などをお聞きし、お客様から返送いただいた『お客様情報＋正式保証書発行カード』と照合しご本人様であることを確認させていただきます。同梱の『お客様情報＋正式保証書発行カード』に必要事項を記入して、必ず返送してください。
- 間違ったパスワードを続けて3回入力した場合は、「プロジェクターの動作を停止します。」と、メッセージが約5分間表示され、本機がスタンバイ状態になります。この場合は、電源プラグを抜いて差し直し、本機の電源を入れます。パスワードの入力を求める画面が表示されますので、パスワードを正しく入力してください。
- 万一、パスワードを忘れてしまったときは、画面に表示されている問い合わせコード：xxxxxの番号を控えて、プロジェクターインフォメーションセンターにご連絡いただき、その指示に従ってください。
  ☛「お問い合わせ先」p.81
- 上記の操作を繰り返し、間違ったパスワードを続けて30回入力した場合は、次のメッセージが表示されパスワード入力もできなくなります。「プロジェクターの動作を停止します。各修理窓口へ修理を依頼してください。」
  ☛「お問い合わせ先」p.81

操作を制限する

本機には、次の2種類の操作制限機能が装備されています。

- 操作ボタンロック
  イベントやショーなどで投写中に本機を操作できないようにしたり、学校などで操作できるボタンを制限したいときに便利な機能です。
- リモコンボタンロック
  リモコンを誤って操作することがないように、リモコンの基本操作に必要になる主要なボタン以外の操作をできなくする機能です。

操作ボタンロック

次のどちらかを選んで本機の操作パネルのボタンをロックできます。操作ボタンロックを行ってもリモコンからは通常どおりに操作できます。

- 全ロック
  操作パネルのボタンをすべてロックします。操作パネルからは電源のオン/オフを含めまったく操作できなくなります。
- 操作ロック
  操作パネルの【⏻】ボタンを除くすべてのボタンをロックします。

1 **投写中に操作パネルの【🔒】ボタンを押して、操作ボタンロック画面を表示します。**

> 環境設定メニューの［操作ボタンロック］からも設定できます。
> 《【メニュー】ボタン→［設定］→［操作ボタンロック］》

2 **目的に応じて、［全ロック］または［操作ロック］を選択します。**

3 **確認のメッセージが表示されるので、［はい］を選びます。**

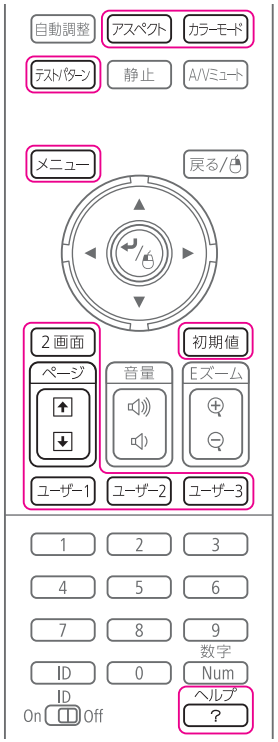
設定に従い、操作パネルのボタンがロックされます。

操作パネルのボタンロックを解除するには、次の2通りの方法があります。

- リモコンを使って、環境設定メニューの[操作ボタンロック]で[オフ]を選びます。
  《【メニュー】ボタン→[設定]→[操作ボタンロック]》
- 操作パネルの【↵】ボタンを約7秒間押し続けると、メッセージが表示され、ロックが解除されます。

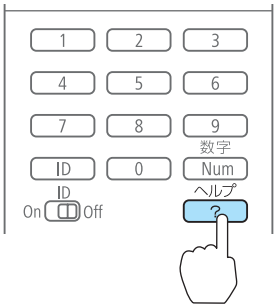
リモコンボタンロック

リモコンの以下のボタンをロックできます。



【ヘルプ】ボタンを約5秒間押し続けるたびにロック/解除されます。

リモコン



リモコンボタンロックが設定されていても、以下の操作は可能です。

- リモコン受光部の設定の初期化
- リモコンボタンロックの解除

盗難防止用ロック

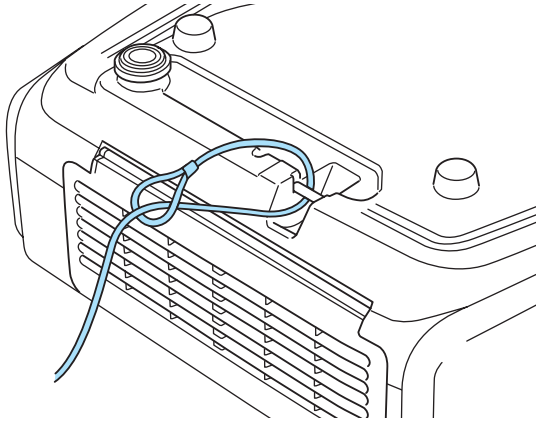
本機には機器そのものを持ち出されないように、次の機構が備わっています。

- セキュリティースロット
  Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティーシステムに対応したセキュリティースロットです。
  マイクロセーバーセキュリティーシステムについての詳細は、以下をご覧ください。
  ☛ http://www.kensington.com/
- セキュリティーケーブル取付け部
  市販の盗難防止用ワイヤーロックなどを通して、机や柱などに固定できます。

ワイヤーロックの取り付け方

盗難防止用ワイヤーロックのワイヤーを通します。

ワイヤーロックの施錠方法は、ワイヤーロックに添付の取扱説明書をご覧ください。



[パスワードプロテクト]の[ネットワーク保護]を[オン]に設定していると、メッセージが表示されネットワークの設定を変更することはできません。[ネットワーク保護]を[オフ]にしてからネットワークの設定を行ってください。

ネットワーク設定の確認

ネットワークの設定情報を確認するには、以下の方法があります。

【メニュー】ボタン→[ネットワーク]から[ネットワーク情報 - 有線LAN]を選択すると、現在のネットワーク設定状況が画面に表示されます。

設定

コンピューターとプロジェクターを接続するために、コンピューターとプロジェクターのネットワーク設定をします。

1 お使いのネットワーク環境でDHCPを使用できるか、ネットワーク管理者に確認します。

DHCPを使用できないときは、プロジェクターに設定する次の値を確認します。

- IPアドレス
- サブネットマスク
- ゲートウェイアドレス

2 コンピューターをネットワークに接続します。

接続されていないときは、コンピューターでネットワーク設定をします。詳しくは、コンピューターの取扱説明書をご覧ください。

3 プロジェクターにLANケーブルを接続します。

4 プロジェクターの電源を入れます。

5 プロジェクターでネットワーク設定画面を表示します。

《【メニュー】ボタン→[ネットワーク]→[ネットワーク設定画面へ]》

6 [有線LAN]メニューを選択します。

以下の画面が表示されます。

7 [IP設定]を選択します。

DHCPを使用できる場合：[IP設定]→[DHCP]を[オン]に設定します。

DHCPを使用できない場合：[IP設定]→[DHCP]を[オフ]に設定して、 プロジェクターのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを入力します。

8 設定が終了したら、[戻る]を選択します。

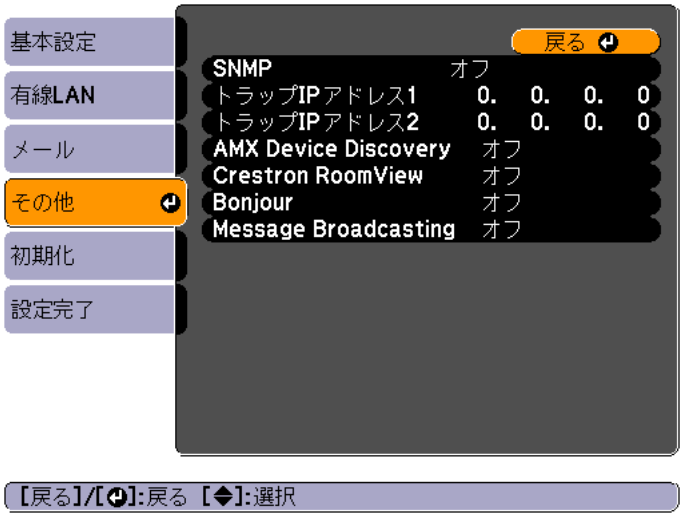
その他ネットワーク設定に関するメニュー一覧

メールメニュー

プロジェクターが異常／警告状態になったときに、ここで通知先を設定すると電子メールで通知されます。

サブメニュー	機能
メール通知機能	［オン］にすると、プロジェクターが異常/警告状態になったときに、設定した宛先にメールで通知します。
SMTPサーバー	本機が使うSMTPサーバーのIPアドレスを入力します。 アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。 127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255（xは0～255の数字）
ポート番号	SMTPサーバーのポート番号を入力します。初期値は25です。1～65535までの有効な数値を入力できます。
宛先1設定/宛先2設定/宛先3設定	通知メールの送信先のメールアドレスを入力します。送信先は最大3件まで登録できます。メールアドレスは最大64文字まで入力できます。（"(),;<>[¥]は使用不可。） 環境設定メニューで入力できる文字数は最大32文字です。32文字以上の入力をするときは、Webブラウザーを使って入力します。 メールで通知する本機の異常/警告を選択します。選択した異常/警告が本機で起きたときに、宛先メールアドレスで指定したメールアドレスに異常/警告が発生したことを通知します。表示されている項目より、複数選択できます。 通知メールの送信元は宛先1のアドレスです。

その他メニュー

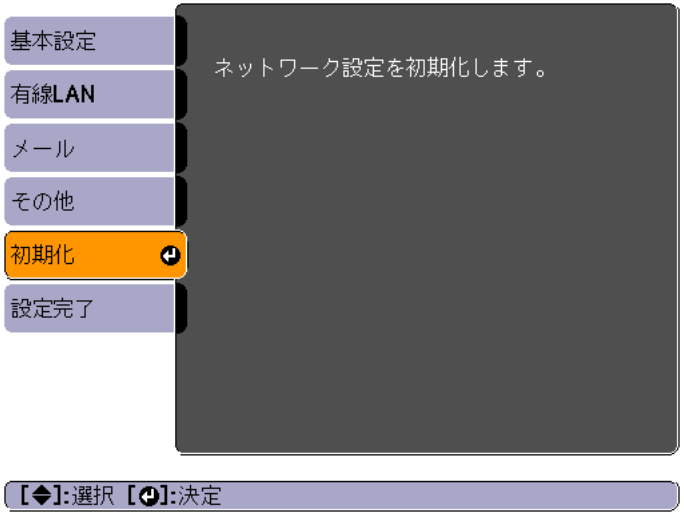


サブメニュー	機能
SNMP	[オン]にすると、SNMPを使用して本機の監視をします。本機を監視するには、コンピューター側にSNMPマネージャープログラムがインストールされている必要があります。SNMPによる管理は、必ずネットワーク管理者が行ってください。初期値は[オフ]に設定されています。
トラップIPアドレス1/トラップIPアドレス2	SNMPのトラップ通知先のIPアドレスを2つまで登録できます。 アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。 ただし、以下のIPアドレスは使用できません。 127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255（xは0～255の数字）
AMX Device Discovery	AMX Device Discoveryによる本機の検出を有効にしたいときは[オン]に設定します。AMX社のコントローラーやAMX Device Discoveryで制御する環境に接続していないときは、[オフ]に設定してください。

サブメニュー	機能
Crestron RoomView	Crestron RoomView®を使用して、ネットワーク経由で本機の監視・制御を行うときのみ[オン]に設定します。通常は[オフ]に設定してください。 設定の変更は、本機を再起動したときに有効になります。 [オン]に設定したときは、以下の機能はご利用になれません。 • Web制御 • Message Broadcasting (EasyMP Monitorのプラグイン)
Bonjour	Bonjourによるネットワーク接続を行うときは[オン]に設定します。Bonjourサービスの詳しい説明については、Apple社のWebサイトをご覧ください。 http://www.apple.com/
Message Broadcasting	EPSON Message Broadcasting機能の有効、無効を切り替えます。 ソフトウェアおよび取扱説明書は、以下のWebサイトよりダウンロードしてください。 http://www.epson.jp/download/

初期化メニュー

ネットワークの設定をすべて初期化します。



サブメニュー	機能
ネットワーク設定を初期化します。	ネットワーク設定をすべて初期化するときは[はい]を選択します。 初期化した後は、基本設定メニューに移行します。

本機内部にはガラス部品や精密部品が数多く使われています。輸送の際には、衝撃による故障防止のため、次のように取り扱ってください。

近くへの移動

以下の点を確認して、静かに移動してください。

- 本機の電源を切り、すべての配線を外してください。
- レンズにカバーを取り付けてください。

⚠ 注意

本機は重いので、1人で運ばないでください。
開梱や移動の際は2人以上で運んでください。

輸送する場合

梱包の準備

上記の「近くへの移動」の確認点に加えて、以下の準備を行ってから梱包してください。

- レンズユニットを取り外して、購入時に本機のレンズ装着部に付いていたカバーを取り付けてください。
- レンズシフトを上下、左右とも中央に設定してください。
  ☛「投写映像の位置調整(レンズシフト)」p.23

梱包と輸送の注意

運送業者(宅配業者他)にご相談のうえ、本機に衝撃が伝わらないように本機の周囲を保護し、堅固なダンボール箱に入れ、精密機器であることを告げて輸送を依頼してください。

ご注意

(1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。

(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。

(4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(「お問い合わせ先」参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

(6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

(7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本機を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源コードは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外でお使いになるときは、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源コードを現地にてお求めください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。 電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦めします。

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

商標と著作権について

Mac、Mac OSは、Apple Inc.の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista、PowerPoint、Windows ロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

HDMIとHigh-Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing LLCの商標、または登録商標です。

PJLinkは、日本、米国、その他の国や地域における商標または登録商標です。

The DisplayPort Certified Logo and DisplayPort Icons are Registered Trademarks of the Video Electronics Standards Association (VESA).

The word DisplayPort is a Registered Trademark of VESA in various countries around the world.

HDBaseT™ and the HDBaseT Alliance logo are trademarks of the HDBaseT Alliance.

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

©SEIKO EPSON CORPORATION 2013. All rights reserved.

2013.5 412517000

●エプソンのホームページ　http://www.epson.jp
各種製品情報･ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。
インターネットFAQ　エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

●プロジェクターインフォメーションセンター　製品の操作方法･お取扱い等、技術的な問い合わせに電話でお答えします。
050-3155-7010　【受付時間】月～金曜日9:00～20:00　土曜日:10:00～17:00（祝日、弊社指定休日を除く）
◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-503-1969へお問い合わせください。

●エプソンサービスコールセンター
修理に関するお問い合わせ･出張修理･保守契約のお申し込み先
050-3155-8600　【受付時間】9:00～17:30　月～金曜日（祝日、弊社指定休日を除く）
◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。

●修理品送付･持ち込み依頼先
お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	電話番号
札幌修理センター	〒003-0021　札幌市白石区栄通4-2-7　エプソンサービス(株)	011-805-2886
松本修理センター	〒390-1243　松本市神林1563　エプソンサービス(株)	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012　東京都日野市日野347　エプソンサービス(株)	050-3155-7120
鳥取修理センター	〒689-1121　鳥取市南栄町26-1　エプソンリペア(株)	050-3155-7140
福岡修理センター	〒812-0041　福岡市博多区吉塚8-5-75　初光流通センタービル3F　エプソンサービス(株)	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027　那覇市山下町5-21　沖縄通関社ビル2F　エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日　9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊修理について詳しくは、エプソンのホームページ　http://www.epson.jp/support/ でご確認ください。
◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。
・松本修理センター:0263-86-7660　・東京修理センター:042-584-8070
・鳥取修理センター:0857-77-2202　・福岡修理センター:092-622-8922

●引取修理サービス(ドアtoドアサービス)に関するお問い合わせ先
引取修理サービス(ドアtoドアサービス)とはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。

引取修理サービス(ドアtoドアサービス)受付電話　050-3155-7150　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。
＊平日の17:30～20:00（弊社指定休日含む）および、土日、祝日の9:00～18:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通航空で代行いたします。
＊引取修理サービス(ドアtoドアサービス)について詳しくは、エプソンのホームページ　http://www.epson.jp/support/ でご確認ください。
＊年末年始（12/30～1/3）の受付は土日、祝日と同様になります。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

●ショールーム　＊詳細はホームページでもご確認いただけます。　http://www.epson.jp/showroom/
エプソンスクエア新宿　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル1F
【開館時間】月曜日～金曜日　10:00～17:00（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON
エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。
さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!	http://myepson.jp/

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●消耗品のご購入
お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト（ホームページアドレス http://www.epson.jp/shop/ または通話料無料 0120-545-101）でお買い求めください。（2013年4月現在）

本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
最新の情報はエプソンのホームページ（http://www.epson.jp/）にてご確認ください。

エプソン販売 株式会社　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン 株式会社　〒392-8502　長野県諏訪市大和3-3-5
液晶プロジェクタ（B）　2013. 04